B5FL-4671-01 Z0

Fujitsu Desktop ESPRIMO

本書をお読みになる前に
1 アプリ
2 BIOS
3 トラブルシューティング

製品ガイド

（共通編）

目次

本書をお読みになる前に 4

安全にお使いいただくために 4
本書の表記 4
Windowsの操作 6
BIOSやドライバーのアップデートについて 6
商標および著作権について 7

第1章　アプリ

1.1 アプリの紹介 9
1.1.1 一覧表の見かた 9
1.1.2 セキュリティ関連のアプリ 10
1.1.3 サポート関連のアプリ 10
1.1.4 ユーティリティ 11
1.1.5 CD/DVD関連のアプリ 12
1.1.6 Office製品 12
1.2 インストール 13
1.2.1 「ドライバーズディスク検索」からのインストール 13
1.2.2 「マカフィー リブセーフ」のインストール 15
1.2.3 「i-フィルター」のインストール 15
1.2.4 「AuthConductor Client Basic」のインストール 15
1.2.5 「Power2Go」／「PowerDVD」のインストール 15
1.2.6 Office製品のインストール 16
1.3 アンインストール 17
1.3.1 注意事項 17
1.3.2 アンインストール方法 17

第2章　BIOS

2.1 BIOSセットアップ 19
2.2 BIOSセットアップの操作のしかた 20
2.2.1 BIOSセットアップを起動する 20
2.2.2 BIOSセットアップ画面 20
2.2.3 BIOSセットアップメニュー 20
2.2.4 BIOSセットアップを終了する 21
2.2.5 起動メニューを使用する 22

2.3 設定事例集 23
2.3.1 BIOSのパスワード機能を使う 23
2.3.2 起動デバイスを変更する 26
2.3.3 セキュリティチップの設定を変更する 26
2.3.4 セキュアブートの設定を変更する 27
2.3.5 Wake on LANを有効にする 28
2.3.6 Wake on RTCを有効にする 29
2.3.7 イベントログを確認する 29
2.3.8 イベントログを消去する 30
2.3.9 ご購入時の設定に戻す 30

第3章 トラブルシューティング

3.1 トラブル発生時の基本操作 32
3.1.1 状況を確認する 32
3.1.2 以前の状態に戻す 32
3.1.3 トラブルシューティングで調べる 33
3.1.4 インターネットで調べる 33
3.1.5 診断プログラムを使用する 33
3.1.6 サポートの窓口に相談する 35
3.2 よくあるトラブルと解決方法 36
3.2.1 トラブル一覧 36
3.2.2 起動・終了時のトラブル 37
3.2.3 Windows・アプリ関連のトラブル 41
3.2.4 ハードウェア関連のトラブル 42
3.2.5 エラーメッセージ一覧 52
3.3 それでも解決できないときは 56
3.3.1 お問い合わせ先 56

廃棄・リサイクル 57

付録1 パソコン本体の廃棄・譲渡時の注意 58

パソコンの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリ上のデータ消去に関する注意 58
データ消去 59

付録2 Windowsの新規インストール 63

注意事項 63
新規インストールの準備 63
新規インストール手順 64

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が『取扱説明書』に記載されています。
特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。

本書の表記

本書の内容は2026年9月現在のものです。お問い合わせ先やURLなどが変更されている場合は、ご購入元へお問い合わせください。詳しくは、『取扱説明書』をご覧ください。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

記号	意味
重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
→	参照ページを示しています。

■ キーの表記と操作方法

本文中のキーの表記は、キーボードに書かれているすべての文字を記述するのではなく、説明に必要な文字を次のように記述しています。

例：【Ctrl】キー、【Enter】キー、【→】キーなど

また、複数のキーを同時に押す場合には、次のように「＋」でつないで表記しています。

例：【Ctrl】＋【F3】キー、【Shift】＋【↑】キーなど

■ 連続する操作の表記

本文中の操作手順において、連続する操作手順を、「→」でつなげて記述しています。

例：「スタートボタン」を表示して、「すべて」にある「Windows ツール」をクリックする操作

↓

「スタート」ボタン→「すべて」の「Windows ツール」の順にクリックします。

POINT

- 本書での操作手順は、「スタート」メニューの「すべて」のビューを「一覧」に切り替えた状態で説明しています。
  表示の切り替えについては、「■ 「スタート」ボタンからアプリを起動する」（→P.6）をご覧ください。

■ 画面例およびイラスト

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種やモデルによって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略したり形状を簡略化したりしていることがあります。

■ 周辺機器の使用

本文中の操作手順において、DVDなどを使用することがあります。
操作に必要なドライブなどが搭載されていないモデルをお使いの場合は、必要に応じて別売の周辺機器を用意してください。
使用できる周辺機器については、「カタログ/システム構成図」のページ（https://jp.fujitsu.com/platform/pc/product/catalog_syskou/）の「オプション品対応一覧」をご覧ください。
また、使用方法については、周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■ 本文に記載しているディスク

ディスク名称
リカバリデータディスク
リカバリ起動ディスク
ドライバーズディスク
CyberLink PowerDVD/Power2Go

ご購入時の構成によっては、これらのディスクは添付されていません。
本パソコンに格納されているイメージからディスクを作成する必要があります。作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

■ 本文に記載している仕様とお使いの機種との相違

ご購入時の構成によっては、本文中の説明がお使いの機種の仕様と異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。
なお、本文内において書き分けがある箇所については、お使いの機種の情報をお読みください。

■ 製品名の表記

本文中では、製品名称を次のように略して表記します。

□パソコン品名

品名	本文中の表記		
ESPRIMO D7015/C	D7015/C	Dシリーズ	本パソコン／パソコン本体

□製品名称

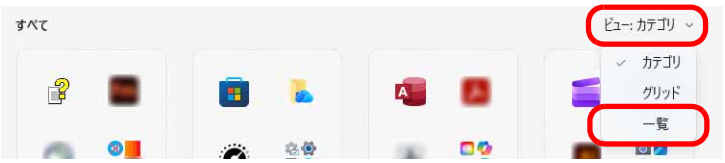
製品名称	本文中の表記	
Windows 11 Pro	Windows 11	Windows
Microsoft Office Home & Business 2024	Office Home & Business 2024	Office
Bluetooth®	Bluetooth	
CyberLink PowerDVD 14	PowerDVD	
CyberLink Power2Go 8	Power2Go	
Fujitsu Security Solution AuthConductor™ Client Basic	AuthConductor Client Basic	
FUJITSU Software Systemwalker Desktop Keeper for Standalone	Systemwalker Desktop Keeper for Standalone	
FUJITSU Software Systemwalker Desktop Navi for Standalone	Systemwalker Desktop Navi for Standalone	
i-フィルター® for マルチデバイス	i-フィルター	
ファイナルパソコンデータ引越し for 富士通	ファイナルパソコンデータ引越し	
マカフィー® リブセーフ™	マカフィー リブセーフ	

Windowsの操作

■ 「スタート」 ボタンからアプリを起動する

本書のアプリを表示する手順は、「スタート」メニューの「すべて」のビューを「一覧」に切り替えた状態で説明しています。
次の手順で「一覧」に切り替えてください。

1 **「スタート」ボタンをクリックし、「すべて」のビューで「一覧」を選択します。**



■ 「コントロールパネル」 ウィンドウ

次の手順で「コントロールパネル」ウィンドウを表示してください。

1 **「スタート」ボタン→「すべて」の「Windows ツール」の順にクリックし、「コントロールパネル」をダブルクリックします。**

■ ユーザーアカウント制御

本書で説明しているWindowsの操作の途中で、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合があります。これは、重要な操作や管理者の権限が必要な操作の前にWindowsが表示しているものです。
表示されるメッセージに従って操作してください。

BIOSやドライバーのアップデートについて

本パソコンには、さまざまなアプリや周辺機器の接続／制御に必要なBIOS、ドライバーなどが搭載されています。
これらのアプリ、BIOS、ドライバーに対して、アップデートプログラムが提供されることがあります。
アップデートプログラムには、次のような内容が含まれています。

- 機能の向上、追加
- 操作性の向上
- 品質改善

本パソコンをより快適にお使いいただくために、常に最新版のBIOSやドライバーを適用してください。
アップデート方法については、弊社アップデートサイト（https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_down.html）をご覧ください。

POINT

- 本パソコンには、インターネットを経由して、ドライバーやアプリの更新プログラムの有無を定期的にチェックして通知する「アップデートナビ」が搭載されています。
  「1.1.3 サポート関連のアプリ」（→P.10）をご覧になり、アップデートナビを有効にしてお使いください。

商標および著作権について

Intel、インテル、Intel ロゴは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

Bluetooth® ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。富士通株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。

CyberLink、PowerDVD、Power2Goは、CyberLink Corporationの商標または登録商標です。

デジタルアーツ /DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター /i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。

McAfee、マカフィー、McAfeeのロゴ、McAfee LiveSafe、およびマカフィー リブセーフは、米国法人McAfee, LLCもしくは米国の国内外にあるその関係会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright 2026 Fujitsu Limited

1

第1章

アプリ

本パソコンにプリインストール（添付）されているアプリの概要や、インストール、アンインストール方法を説明しています。

1.1 アプリの紹介 9
1.2 インストール 13
1.3 アンインストール 17

1.1 アプリの紹介

ここでは、本パソコンにプリインストールまたは添付されているアプリの概要と、ご購入時の提供形態を説明しています。
ご購入時にインストールされているアプリは、削除してしまったり、データやファイルが破損したりした場合に再インストールできるように、「ドライバーズディスク」などに格納されています。
また、ご購入時にはインストールされておらず、お使いになる前にCドライブなどからインストールするアプリもあります。
各アプリの格納場所は、次ページ以降の一覧表で確認してください。

その他の情報については次をご覧ください。

- アプリの使い方
  ヘルプまたは「Readme.txt」などの説明ファイルをご覧ください。
  ヘルプは、【F1】キーを押したり「ヘルプ」をクリックしたりすることで表示されます。
- インストール方法
  「1.2 インストール」（→P.13）をご覧ください。
- カスタムメイドのアプリおよび一部のアプリ
  インターネット上のマニュアル（https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/fmvmanual/）の機能別のマニュアルをご覧ください。

1.1.1 一覧表の見かた

アプリ一覧表の欄にある項目や記号について説明します。

□アプリの提供形態について

提供状況を記号で示しています。アプリ一覧のOS欄をご覧ください。

- ●注：ご購入時にインストール済み
- ◆　：ご購入時にインストール済み（「ドライバーズディスク」にも格納されています）
- ◇　：Cドライブに格納（ご購入時はインストールされていません）
- ▲　：「ドライバーズディスク」に格納（ご購入時はインストールされていません）
- ◎　：アプリの専用ディスクに格納（ご購入時はインストールされていません）
- ■　：起動メニューより選択（→P.22）

注 ：本マークのアプリは「ドライバーズディスク」には格納されていません。
再インストールする場合は、ストアから本アプリをインストールする必要があります。
「ドライバーズディスク」内にある「Readme.txt」をご覧になり、ストアのURLやインストール時の注意をご確認ください。

□ディスクについて

「ドライバーズディスク」や各アプリのディスクは、本パソコンのフラッシュメモリに格納されています。
ディスクがお手元にない場合は、フラッシュメモリからディスクを作成してください。
作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

1.1.2　セキュリティ関連のアプリ

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.9）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	
AuthConductor Client Basic	次のセキュリティデバイス（※1）などを使用するためのアプリです。 ・指紋センサー ・手のひら静脈センサー ・Webカメラ（※2） ※1 セキュリティデバイスを使用するには、それぞれの外付けデバイスの購入が必要となります。 ※2 お使いになるには、別売の「AuthConductor Client 顔認証オプションV2」が必要となります。	▲
i-フィルター	インターネット上の有害なコンテンツをブロックするアプリです。有害サイトへアクセスしようとすると、表示できない旨のメッセージ画面が自動的に表示されます。 本アプリは30日間のお試し版です。試用期間中、サポートします。 ・「i- フィルター」の利用期間は、初回起動時から 30 日間です。利用期間が経過すると、フィルター機能は利用できなくなります。継続して利用する場合は、オンラインにてユーザー登録、シリアルIDの購入が必要です。	◇注
Systemwalker Desktop Keeper for Standalone	USBデバイスの使用を許可するかどうか、USBデバイスに対する操作を記録するかどうかを設定できます。 不要なUSBデバイスの使用を制限することで、情報漏洩リスクを軽減し、記録した操作の確認により情報の持ち出しを監視／監査できます。	▲
Systemwalker Desktop Navi for Standalone	パソコンのセキュリティ状態の可視化および資産管理を行います。 セキュリティポリシーに基づき、パスワードの設定状況や必須／禁止ソフトウェアのインストール状況などを自動的に診断・通知することで、セキュリティリスク低減を支援します。 また、セキュリティ診断結果やハードウェア／ソフトウェア情報を収集・集計し、資産情報として可視化することで、パソコンのセキュリティ状況および資産状況を正確かつ容易に把握できます。	▲
マカフィー リブセーフ	コンピューターウイルスを検出・駆除します。無償サポート、無償アップデートの期間は、使用開始から60日間です。 インストールの方法については「1.2.2 「マカフィー リブセーフ」のインストール」（→P.15）を、その他のお問い合わせは「3.3.1 お問い合わせ先」（→P.56）をご覧ください。	◇

注 ：「i-フィルター」は「ドライバーズディスク」にも格納されていますが、Cドライブに格納されたデータからインストールしてください。（→P.15）

1.1.3　サポート関連のアプリ

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.9）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	
アップデートナビ	インターネットを経由して、ドライバーやアプリの更新プログラムの有無を定期的にチェックして通知します。 アップデートナビを有効にするために、一度アプリを起動し、自動更新通知・常駐設定で「自動更新通知をする」を選択してください。 その後、ドライバーやアプリが更新されると、通知が表示されます。	●
ファイナルパソコンデータ引越し	今までお使いになっていたパソコンから、現在お使いのパソコンへ必要なデータを移行できます。	▲
富士通ハードウェア診断ツール	ハードウェアに障害が発生していないか診断できます。 詳しくは、「3.1.5 診断プログラムを使用する」（→P.33）をご覧ください。	■

1.1.4　ユーティリティ

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.9）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	
Dolby Digital Plus Codec	Dolby DigitalおよびDolby Digital Plusコンテンツを再生するアプリです。	●注
Intel® Graphics Software	ディスプレイの解像度の変更や、マルチディスプレイ機能の設定を行います。 ・「ドライバーズディスク」内の「readme.txt」については、「インテル(R) ディスプレイドライバー 64ビット版」に格納されています。	●
NVIDIA Control Panel	対 象 NVIDIA グラフィックスカード搭載機種 ディスプレイの解像度の変更や、マルチディスプレイ機能の設定を行います。 ディスプレイの設定については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」の「ディスプレイ」および「マルチディスプレイ機能」をご覧ください。 ・「ドライバーズディスク」内の「readme.txt」については、「NVIDIA ディスプレイドライバー 64ビット版」に格納されています。	●
PCサポートツール	次のことを行えるアプリです。 ・本パソコンの情報を確認できます。 ・Webサイトの製品情報やマニュアル情報にアクセスできます。 詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「PCサポートツール」をご覧ください。	◆
RAID監視ユーティリティー	対 象 NVMe-RAID1搭載機種 Windows上でディスクアレイの状態監視やメンテナンスなどを行うためのRAID管理ユーティリティです。 詳しくは、『NVMe-RAIDをお使いの方へ』をご覧ください。	◆
Realtek Audio Console	接続したオーディオ端子を切り替えたり、音量を調節したりします。 ・「ドライバーズディスク」内の「readme.txt」については、「Realtek High Definition Audio オーディオドライバー」に格納されています。	●
ディスク作成ユーティリティ	リカバリディスクを作成するときに使用するアプリです。	◆
ドライバーズディスク検索	ドライバーやアプリをインストールするときに使用するアプリです。	◆

注 ：「Dolby Digital Plus Codec」はドライバーズディスクには格納されていません。また再インストールはできません。

1.1.5 CD/DVD関連のアプリ

表内の記号については「1.1.1 一覧表の見かた」（→P.9）をご覧ください。

名称	概要／提供形態	対象OS	
		11	10
Power2Go	対 象 スーパーマルチドライブ搭載機種 DVD-ROM ドライブ搭載機種 パソコンのデータをCDやDVDに保存できます。 使用方法については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「ディスクに書き込む」およびアプリのヘルプをご覧ください。	◎	―
PowerDVD	対 象 スーパーマルチドライブ搭載機種 DVD-ROM ドライブ搭載機種 映画や音楽などのDVDを再生できます。 使用方法については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「DVD-Videoを再生する」をご覧ください。	◎	―

1.1.6 Office製品

カスタムメイドで選択したアプリをご覧ください。
ご購入時にOfficeはインストールされています。Officeをお使いになる場合は、ライセンス認証が必要です。
詳しくは、「1.2.6 Office製品のインストール」（→P.16）またはアプリに添付のマニュアルをご覧ください。

重 要

- リカバリを実行した場合、Officeはインストールされません。
  マイクロソフト社のWebサイト（https://www.office.com/jppipcsetup/）からOffice製品をダウンロードしてください。

名称	含まれるアプリ	概要
Microsoft Office Home & Business 2024	Word	ワープロ
	Excel	表計算
	Outlook	情報管理
	PowerPoint	プレゼンテーション
	OneNote	デジタルノート

1.2 インストール

インストール方法はお使いになるアプリにより異なります。
データの格納されたフォルダー内にある「Readme.txt」などの説明ファイルや、機能別マニュアル、アプリに添付のマニュアルなどを必ずご確認のうえ、手順に従ってインストールしてください。

重 要

- 誤ったドライバーをインストールした場合、本パソコンが正しく動作しなくなり、リカバリが必要となることがあります。必ずOSや機種名を確認し、正しいドライバーを使用してください。
- すでにインストールされているドライバーについては、特に問題がない限りインストールしないでください。
- 管理者アカウントでWindowsにサインインしてからインストールしてください。

1.2.1 「ドライバーズディスク検索」からのインストール

重 要

- 本パソコンにプリインストールされているアプリやドライバーの一部は、ドライバーズディスク検索に格納されていないものもあります。
  再インストールする場合には、ストアからインストールする必要があります。
  各アプリやドライバーのフォルダに格納されている「Readme.txt」に、ストアのURLやインストール時の注意について記載していますので、必ずご確認ください。

「ドライバーズディスク」(注) とフラッシュメモリに格納されているアプリやドライバーは、「ドライバーズディスク検索」からインストールできます。

注 ：・「i-フィルター」をインストールする場合は、「1.2.3 「i-フィルター」のインストール」（→P.15）をご覧ください。
・「Power2Go」および「PowerDVD」をインストールする場合は、「1.2.5 「Power2Go」／「PowerDVD」のインストール」（→P.15）をご覧ください。
・「AuthConductor Client Basic」をお使いになるには、認証デバイスによりドライバーのインストールが必要になる場合があります。インストール方法については、必ず「1.2.4 「AuthConductor Client Basic」のインストール」（→P.15）をご覧ください。

重 要

- Office製品は「ドライバーズディスク検索」からインストールできません。
  「1.2.6 Office製品のインストール」（→P.16）をご覧ください。
- 「ドライバーズディスク」は、本パソコンのフラッシュメモリに格納されています。
  ディスクがお手元にない場合はフラッシュメモリからディスクを作成してください。作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。
- ドライバーやアプリのアップデート版は、弊社アップデートサイトに公開されています。
  システムの安定稼働のため、常に最新版のドライバーやユーティリティを適用することをお勧めします。
  なお、本パソコンに搭載されているすべてのドライバーやアプリが公開されているわけではありません。

1 次の操作を行います。

●ディスクからインストールする場合

1. ディスクをセットします。
   「ドライバーズディスク検索」が起動します。

POINT

- 画面右下にメッセージが表示された場合は、そのメッセージをクリックし、続けて「DRVCDSRC.exeの実行」をクリックしてください。
- 「ドライバーズディスク検索」が起動しない場合は、次のように操作してください。
  1.「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラー」をクリックします。
  2. ウィンドウ左の「PC」をクリックします。
  3. ディスクをセットしたドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「自動再生を開く」をクリックします。
  4.「DRVCDSRC.exeの実行」をクリックします。

●フラッシュメモリのデータからインストールする場合

1.「スタート」ボタン→「すべて」の「ドライバーズディスク検索（ハードディスク）」の順にクリックします。
2. メッセージが表示されたら、「OK」をクリックします。
   「ドライバーズディスク検索」が起動します。

2 「ソフトウェアの検索条件」で機種名が選択できる場合は、お使いの機種名を選択します。

3 「ソフトウェアの検索条件」でお使いのOSを選択します。

4 「種別」に「すべて」を選択します。

5 インストールするアプリを選択します。

「内容」に、インストールするアプリのフォルダーが表示されます。

6 「インストール方法の確認」をクリックします。

Readmeなどのテキストファイルを選択するウィンドウが表示されます。

重 要

- 「表示可能なファイルがありません。」というメッセージが表示された場合
  「内容」に表示されている「readme」から始まるファイルをダブルクリックして、ファイルを開いてください。

7 テキストファイルを選択し、「開く」をクリックします。

テキストファイルの手順に従って、ドライバーをインストールしてください。
ドライバーのインストール完了後、本パソコンが再起動します。

1.2.2 「マカフィー リブセーフ」のインストール

POINT

- 「マカフィー リブセーフ」をインストールしていると、お使いのアプリによっては正常にインストールされなかったり、不具合が発生したりすることがあります。

1 次のファイルをご覧になり、インストールします。

C:¥Fujitsu¥Bundle¥MLS¥Readme.txt

2 インストールが完了したら本パソコンを再起動します。

重 要

- ウイルス定義ファイルは、常に最新の状態でお使いください。詳しくは「マカフィー リブセーフ」のヘルプをご覧ください。
- ウイルス定義の更新は、システム管理者の指示に従って実行してください。
- 定義を更新するには、インターネットに接続できる環境が必要です。

1.2.3 「i-フィルター」のインストール

Cドライブに格納されています。次のファイルをご覧になり、インストールしてください。

C:¥Fujitsu¥Bundle¥I-Filter¥Readme.txt

1.2.4 「AuthConductor Client Basic」のインストール

「AuthConductor Client Basic」は「ドライバーズディスク」に格納されていますが、インストールの方法や順番が、他のアプリとは異なります。「AuthConductor Client Basic」のインストール方法については、AuthConductor Client Basicのマニュアルをご覧ください。

1.2.5 「Power2Go」／「PowerDVD」のインストール

対 象 スーパーマルチドライブ搭載機種
DVD-ROM ドライブ搭載機種

「Power2Go」および「PowerDVD」は「CyberLink PowerDVD/Power2Go」ディスクからインストールします。インストール方法については、ディスク内の「Readme.txt」をご覧ください。

重 要

- 「CyberLink PowerDVD/Power2Go」ディスクは、本パソコンのフラッシュメモリに格納されています。ディスクがお手元にない場合はフラッシュメモリからディスクを作成してください。
  作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

1.2.6 Office製品のインストール

重 要

- インターネットに接続して操作してください。

1 **「スタート」ボタン→「すべて」の「Word」の順にクリックします。**

2 **この後は、画面に従って操作します。**

・使用許諾契約の同意
ライセンス条項を表示して必ずお読みください。

Office製品のご利用は「Officeの更新」を適用して、常に最新の状態に更新してください。

重 要

- ご購入時に添付のディスクを使ってリカバリを実行した場合、Office製品はインストールされません。
  マイクロソフト社のWebサイトをご覧になり、インストールしてください。
  ●インストール方法
  1. マイクロソフト社のWebサイト（https://www.office.com/jppipcsetup/）を開きます。
  2. 「Office 2024」タブの「Office 2024（企業向け）、Microsoft 365 Basic（個人向け）」の「Officeの再インストール」をクリックします。
  3. 「Officeの再インストール」の「デジタル Office 製品」タブの項目をご覧ください。
- オフライン（インターネットに接続できない場合）での再インストールはサポートしていません。
- 本パソコンに搭載されている Office 製品は、デジタルライセンスによって「ライセンス認証」を行うため、プロダクト キーは添付されていません。
- マイクロソフト社のWebサイトの内容は変更される場合があります。最新の情報に従ってインストールしてください。

1.3 アンインストール

1.3.1 注意事項

アプリをアンインストールする場合は、次の点に注意してください。

- アプリをすべて終了してからアンインストールを始めること
- DLLファイルは削除しないこと
  アンインストール時に次のようなメッセージが表示されることがあります。
  「このDLLは複数のソフトウェアで使用されている可能性があります。削除を行いますか」
  このDLLファイルを削除すると、他のアプリが正常に動作しなくなることがあります。
  アプリのマニュアル、ヘルプ、または「Readme.txt」などの説明ファイルで、特に指示がない場合はDLLファイルは削除しないことをお勧めします。

1.3.2 アンインストール方法

一般的に、次の方法があります。

- アンインストール機能を使用する
  アプリにアンインストール機能が用意されている場合があります。
- 「プログラムのアンインストールまたは変更」機能を使用する
  次の手順で削除できます。
  1. 「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.6）を表示します。
  2. 「プログラム」→「プログラムと機能」の順にクリックします。
     「プログラムと機能」が表示されます。
  3. 削除したいアプリを右クリックし、表示されたメニューから「アンインストール」を選択します。

アンインストール方法はアプリによって異なります。詳しくは、各アプリのマニュアル、ヘルプ、または「Readme.txt」などの説明ファイルをご覧ください。

重 要

- 次の認証デバイス（※1）のドライバーをアンインストールするときは、「AuthConductor Client Basic」をアンインストールした後で行うようにしてください。
  認証デバイスドライバーのアンインストール方法については、「Readme.txt」などの説明ファイルをご覧ください。
  ・指紋センサー
  ・手のひら静脈センサー
  ・Webカメラ（※2）
- 「AuthConductor Client Basic」のアンインストール方法については、AuthConductor Client Basicのマニュアルをご覧ください。

※1 認証デバイスを使用するには、それぞれの外付けデバイスの購入が必要となります。
※2 お使いになるには、別売の「AuthConductor Client 顔認証オプションV2」が必要となります。

2

第2章

BIOS

BIOSセットアップについて説明しています。

2.1 BIOSセットアップ 19
2.2 BIOSセットアップの操作のしかた 20
2.3 設定事例集 23

2.1 BIOSセットアップ

BIOSセットアップは、メモリやフラッシュメモリなどのハードウェアの環境を設定するためのプログラムです。
本パソコンご購入時には、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。次のような場合にBIOSセットアップの設定を変更します。

- 特定の人だけが本パソコンを利用できるように、本パソコンにパスワードを設定するとき
- 起動デバイスを変更するとき
- セキュリティチップの設定を変更するとき
- セキュアブートの設定を変更するとき
- Wake on LANの設定を変更するとき
- Wake on RTCの設定を変更するとき
- 起動時の自己診断（POST）にBIOSセットアップをうながすメッセージが表示されたとき

重 要

- BIOSセットアップの設定は、必ず電源を完全に切ってから行ってください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSセットアップは正確に設定してください。
  設定を間違えると、本パソコンが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりします。
  このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻して本パソコンを再起動してください。
- 起動時の自己診断中は、電源を切らないでください。
- 無線LAN搭載機種の場合は、次のときにBluetoothワイヤレステクノロジーで、キーボード／マウスを接続できません。
  - BIOSセットアップ
  - 起動メニュー
  - 診断プログラム
  - データ消去（ERASE DISKを実行）

  これらの操作には、USBまたはPS/2のキーボード、マウスを用意してください。

2.2 BIOSセットアップの操作のしかた

ここでは、BIOSセットアップの起動と終了、および基本的な操作方法について説明しています。

2.2.1 BIOSセットアップを起動する

POINT

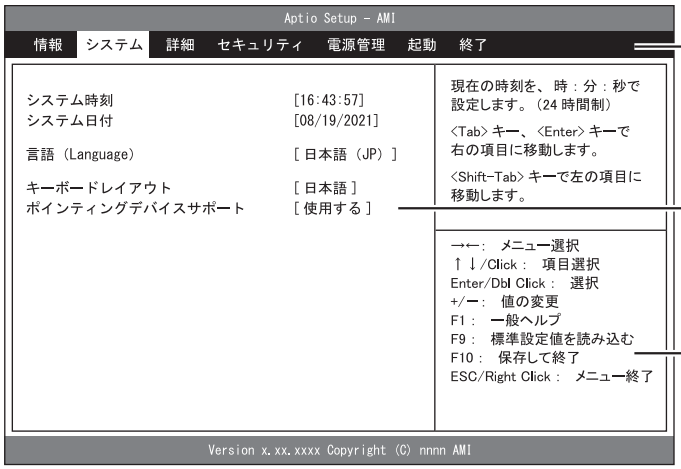
- Windowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

1 **【F2】キーまたは【Esc】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。**

2 **BIOSセットアップ画面が表示されたら、【F2】キーまたは【Esc】キーを離します。**
パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力（→P.25）し、すぐに【F2】キーまたは【Esc】キーを押してください。

2.2.2 BIOSセットアップ画面

BIOSセットアップ画面の各部の名称と役割は、次のとおりです。
各項目についての説明は「項目ヘルプ」を、操作方法は「キー一覧」をご覧ください。



1 メニューバー
メニュー名が表示されます。

2 設定フィールド
選択しているメニューの設定項目と、現在の設定値が表示されます。

3 キー一覧
設定時に使うキーの一覧です。

（機種により表示が異なる場合があります）

2.2.3 BIOSセットアップメニュー

BIOSの各種設定を行います。
本パソコンのBIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。

2.2.4 BIOSセットアップを終了する

■ 変更を保存して終了する場合

1 **「終了」メニューを選択します。**
サブメニューが表示されている場合は、【Esc】キーを押してメニュートップに戻り、「終了」メニューを選択します。

2 **次のいずれかの項目を選択し、【Enter】キーを押します。**
・「変更を保存して終了する」
・「変更を保存して電源を切る」
確認メッセージが表示されます。

3 **「はい」を選択し、【Enter】キーを押します。**
BIOSセットアップが終了します。
「変更を保存して終了する」を選択した場合はWindowsが起動します。
「変更を保存して電源を切る」を選択した場合はパソコンの電源が切れます。

■ 変更を保存せずに終了する場合

1 **「終了」メニューを選択します。**
サブメニューが表示されている場合は、【Esc】キーを押してメニュートップに戻り、「終了」メニューを選択します。

2 **「変更を保存せずに終了する」を選択し、【Enter】キーを押します。**
確認メッセージが表示されます。

3 **「はい」を選択し、【Enter】キーを押します。**
BIOSセットアップが終了し、Windows が起動します。

2.2.5 起動メニューを使用する

起動するデバイスを選択して本パソコンを起動します。「リカバリ起動ディスク」から本パソコンを起動する場合などに使用します。
起動メニューを使用するには、パソコンの電源を完全に切った状態から行ってください。

重 要

- BIOSセットアップの「セキュリティ」メニューの「起動メニュー」が「使用しない」の場合は、起動メニューを使用できません。その場合は、「使用する」に設定し直してください。

1 **本パソコンの電源を完全に切ります。**
電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 **【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。**

3 **起動メニューが表示されたら、【F12】キーを離します。**
パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力（→P.25）し、すぐに【F12】キーを押してください。

POINT

- Windowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。
電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

4 **カーソルキーで起動するデバイスを選択し、【Enter】キーを押します。**
選択したデバイスから本パソコンが起動します。

POINT

- 光学ドライブから起動する場合、光学ドライブにディスクをセットしてから操作してください。
UEFI起動メディアから起動する場合は、「UEFI：(光学ドライブ名)」を選択してください。
「UEFI：(光学ドライブ名)」が表示されていないときは、次の操作を行い、本パソコンを再起動してください。
  1. ディスクをセットしたまま【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押し、続けて【F12】キーを押したままにします。
  2. 起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。
- 光学ドライブから起動する場合、光学ドライブのデータの読み出しが停止していることを確認してから【Enter】キーを押してください。
光学ドライブのデータの読み出し中に【Enter】キーを押すと、光学ドライブから正常に起動できない場合があります。
- 起動メニューを終了して通常の方法で起動する場合は、【Esc】キーを押してください。

2.3 設定事例集

ここでは、よく使われる設定について、その設定方法を記載しています。お使いの状況にあわせてご覧ください。

- **BIOSのパスワード機能を使う（→P.23）**
- **起動デバイスを変更する（→P.26）**
- **セキュリティチップの設定を変更する（→P.26）**
- **セキュアブートの設定を変更する（→P.27）**
- **Wake on LANを有効にする（→P.28）**
- **Wake on RTCを有効にする（→P.29）**
- **イベントログを確認する（→P.29）**
- **イベントログを消去する（→P.30）**
- **ご購入時の設定に戻す（→P.30）**

2.3.1 BIOSのパスワード機能を使う

■ パスワードの種類

本パソコンで設定できるパスワードは次のとおりです。

□管理者用パスワード

システム管理者用のパスワードです。パスワード機能を使う場合は、必ず設定してください。

□ユーザー用パスワード

一般利用者用のパスワードです。管理者用パスワードが設定されている場合のみ設定できます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合は、設定変更のできる項目が制限されます。
制限された設定項目はグレー表示になり、変更できません。

POINT

- 管理者用パスワードが削除された場合、ユーザー用パスワードも削除されます。

□ハードディスクパスワード

本パソコンのフラッシュメモリを、他のユーザーが使用したり、他のコンピューターで使用したりできないようにするためのパスワードです。
管理者用パスワードを設定してからハードディスクパスワードを設定することをお勧めします。

■ パスワードを設定／変更／削除する

重 要

- ハードディスクパスワードを設定する場合は、電源オフ状態から作業を開始してください。
  本パソコンを再起動してBIOSセットアップを起動した場合、ハードディスクパスワードを設定することはできません。
- 「管理者用パスワード」を変更するには、BIOSセットアップを「管理者用パスワード」で起動する必要があります。
- 「ユーザー用パスワード」を設定するには、「管理者用パスワード」が設定されている必要があります。
- 「暗号化機能付フラッシュメモリ」は、全データの暗号化および復号を自動的に行いますが、ハードディスクパスワードを設定していない場合はフラッシュメモリへの不正なアクセスを防ぐことはできません。

1 ハードディスクパスワードを設定する場合は、次の操作を行います。

1. 本パソコンの電源が入っている場合は、電源を切ります。
   電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
2. BIOSセットアップを起動します（→P.20）。

2 「セキュリティ」メニューで次の項目を選択し、【Enter】キーを押します。

●管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する場合
・「管理者用パスワード設定」
・「ユーザー用パスワード設定」
●ハードディスクパスワードを設定する場合
・「ハードディスクセキュリティ」の「ドライブn」の「ユーザーパスワード設定」

3 すでにパスワードが設定されている場合は、現在のパスワードを入力します。

「新しいパスワードを入力してください」にカーソルが移ります。

4 新しいパスワードを入力します。

管理者用パスワード／ユーザー用パスワードは3～32桁、ハードディスクパスワードは1～32桁まで入力できます。

パスワードを削除する場合は、何も入力せずに【Enter】キーを押します。
「新しいパスワードを確認してください」にカーソルが移ります。

重 要

- パスワードには次の文字を使用できます。
  ・半角英数字（a-z、A-Z、0-9）
  ・半角スペース
  ・半角記号（「"」、「¥」、「\（バックスラッシュ）」は除く）
  複数の種類のキーボードを接続する場合は、アルファベットと数字を使用することをお勧めします。
  また、接続するキーボードの種類にあわせ、事前にBIOSセットアップの「システム」メニューの「キーボードレイアウト」を設定する必要があります。設定後は、「終了」メニューの「変更を保存して終了する」または「変更を保存して電源を切る」を実行してください。
- 入力した文字は表示されず、代わりに「＊」が表示されます。
- 数字だけでなく英字を入れるなど、第三者に推測されないように工夫してください。
- パソコン本体の修理が必要な場合は、必ずパスワードを解除してください。パスワードがかかった状態では、保証期間にかかわらず、修理は有償となります。

5 手順4で入力したパスワードをもう一度入力します。

「変更が保存されました。」と表示され、パスワードが変更されます。

POINT

- 再入力したパスワードが間違っていた場合は、警告メッセージが表示されます。
  【Enter】キーを押してウィンドウを消去し、手順4からやり直してください。

6 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。

「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

■ パスワードを使用する

設定したパスワードは、BIOSセットアップの設定により、次の場合に入力が必要になります。

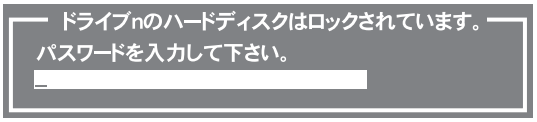
POINT

- 誤ったパスワードを3回入力すると、エラーメッセージが表示されて警告音が鳴り、キーボードやマウスが一切反応しなくなります。
  この場合は、電源ボタンを4秒以上押して本パソコンの電源を切ってください。
  電源が切れた後、10秒以上待ってからもう一度電源を入れて、正しいパスワードを入力してください。

- 管理者用パスワード／ユーザー用パスワード
  ・BIOSセットアップを起動するとき
  ・本パソコンを起動するとき
  ・休止状態からレジュームするとき
  次の入力画面が表示されたら、管理者用パスワードまたはユーザー用パスワードを入力してください。



- ハードディスクパスワード
  ・本パソコンを起動するとき
  次の入力画面が表示されたら、対応するドライブのハードディスクパスワードを入力してください。



■ パスワードを忘れてしまったら

重 要

- ハードディスクパスワードは、盗難などによる不正使用を防止することを目的とした強固なセキュリティです。ハードディスクパスワードを忘れてしまった場合、修理をしてもフラッシュメモリ内のデータやプログラムは復元できず、消失してしまいます。パスワードの管理には充分ご注意ください。

□ 対処が可能な場合

- ユーザー用パスワードを忘れてしまった
  管理者用パスワードを削除すると、ユーザー用パスワードも削除されます。

□対処が不可能な場合

次の場合は、修理が必要です。「富士通ハードウェア修理相談センター」またはご購入元にご連絡ください。
修理は保証期間にかかわらず、有償になります。

- 管理者用パスワードを忘れてしまった
- ハードディスクパスワードを忘れてしまった

2.3.2 起動デバイスを変更する

本パソコンの起動時にOSを読み込むデバイスの順序は、「起動」メニューの「起動デバイスの優先順位」で設定します。
「起動デバイスの優先順位」に設定されている順にOSを検索します。
変更したデバイスの順序は、再起動後に反映されます。

1. **「起動」メニューを選択します。**
2. **「起動デバイスの優先順位」を選択し、【Enter】キーを押します。**
3. **設定を変更したい順位を選択し、【Enter】キーを押します。**
4. **設定したいデバイスを選択し、【Enter】キーを押します。**
   選択したデバイスの順位が入れ替わります。
5. **希望する順番になるまで手順3～4を繰り返します。**
6. **変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。**
   「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

2.3.3 セキュリティチップの設定を変更する

■ セキュリティチップを有効／無効にする

1. **「セキュリティ」メニューを選択します。**
2. **「TPM（セキュリティチップ）設定」を選択し、【Enter】キーを押します。**
3. **「セキュリティチップ」を選択し、【Enter】キーを押します。**
4. **「使用する」または「使用しない」を選択し、【Enter】キーを押します。**
5. **変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。**
   「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

POINT

- セキュリティチップの設定変更は、再起動後に反映されます。

■ セキュリティチップをクリアする

重 要

- セキュリティチップをクリアすると、セキュリティチップで保護されたデータなどは利用できなくなります。セキュリティチップをクリアする前に保護を解除してください。

1. 「セキュリティ」メニューを選択します。
2. 「TPM（セキュリティチップ）設定」を選択し、【Enter】キーを押します。
3. 「TPM状態の変更内容」を選択し、【Enter】キーを押します。

POINT

- 「TPM状態の変更内容」を選択するためには、「セキュリティチップ」が「使用する」に設定されている必要があります。

4. 「クリアする」を選択し、【Enter】キーを押します。
5. 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

POINT

- セキュリティチップのクリアは、再起動後に反映されます。

■ アプリからの変更を反映する

Windows上のアプリを使ってセキュリティチップの状態を変更する場合、本パソコンの再起動後に、変更が有効になっていることがあります。
再起動を要求するメッセージが表示されたら、本パソコンを再起動してください。起動時の自己診断が実行された後、セキュリティチップの状態が変更されます。

2.3.4 セキュアブートの設定を変更する

1. 「セキュリティ」メニューを選択します。
2. 「セキュアブート設定」を選択し、【Enter】キーを押します。
3. 「セキュアブート機能」を選択し、【Enter】キーを押します。
4. 「使用する」または「使用しない」を選択し、【Enter】キーを押します。
5. 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

2.3.5 Wake on LANを有効にする

Wake on LAN（WoL機能）は、他のコンピューターから有線LAN経由で本パソコンを起動・レジュームする機能です。
本パソコンが次の状態のときに、起動・レジュームします。

- 電源オフ状態から起動する
- 休止状態からレジュームする
- スリープ状態からレジュームする

ここでは、電源オフ状態から起動する設定について説明します。
省電力状態からのレジュームについては、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「WoL機能によるレジュームの設定を変更する」をご覧ください。

重 要

- 電源を切る方法については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

■ BIOSセットアップメニューでの設定

1. **「電源管理」メニューを選択します。**
2. **「LANによるウェイクアップ」を選択し、【Enter】キーを押します。**
3. **「使用する」を選択し、【Enter】キーを押します。**
4. **変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。**
   「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）
   Windowsが起動します。続けて「■ Windowsでの設定」（→P.28）を行ってください。

■ Windowsでの設定

1. **「コントロールパネル」ウィンドウ（→P.6）を表示します。**
2. **「ハードウェアとサウンド」→「電源オプション」の順にクリックします。**
   「電源オプション」が表示されます。
3. **ウィンドウ左の「電源ボタンの動作を選択する」をクリックします。**
4. **「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。**
5. **「シャットダウン設定」の「高速スタートアップを有効にする（推奨）」のチェックを外します。**
6. **「変更の保存」をクリックします。**

2.3.6 Wake on RTCを有効にする

Wake on RTC機能とは、電源オフ状態から指定の時刻に本パソコンを起動する機能です。

1. **「電源管理」メニューを選択します。**
2. **「時刻による電源ON」を選択し、【Enter】キーを押します。**
3. **「使用する」を選択し、【Enter】キーを押します。**
4. **次の設定をそれぞれ選択し、【Enter】キーを押します。**
   ・時刻
   ・日付
5. **指定をそれぞれ入力し、【Enter】キーを押します。**
6. **変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。**
   「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

2.3.7 イベントログを確認する

1. **「詳細」メニューを選択します。**
2. **「イベントログ設定」を選択し、【Enter】キーを押します。**
3. **「イベントログの表示」を選択し、【Enter】キーを押します。**
   記録されているイベントログが表示されます。

イベントログに記録されるメッセージについては、「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.52）の「■BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ」をご覧ください。

2.3.8 イベントログを消去する

1 「詳細」メニューを選択します。

2 「イベントログ設定」を選択し、【Enter】キーを押します。

3 「イベントログの消去」を選択し、【Enter】キーを押します。

4 「次回起動時に消去します」を選択し、【Enter】キーを押します。

5 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

POINT

- 「イベントログの消去」に「次回起動時に消去します」を選択した場合、再起動すると設定値は「いいえ」になります。

2.3.9 ご購入時の設定に戻す

1 「終了」メニューを選択します。

2 「標準設定値を読み込む」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認メッセージが表示されます。

3 「はい」を選択して【Enter】キーを押します。
一部を除くすべての設定が、ご購入時の設定値に戻ります。
変更されない項目については、『BIOSセットアップメニュー 一覧』の「終了」メニュー ―「標準設定値を読み込む」備考欄「次の項目は対象外」をご覧ください。

4 変更を保存して、BIOSセットアップを終了します。
「2.2.4 BIOSセットアップを終了する」（→P.21）

3

第3章
トラブルシューティング

おかしいなと思ったときや、わからないことがあったときの対処方法について説明しています。

3.1　トラブル発生時の基本操作 32
3.2　よくあるトラブルと解決方法 36
3.3　それでも解決できないときは 56

3.1 トラブル発生時の基本操作

トラブルを解決するにはいくつかのポイントがあります。トラブル発生時に対応していただきたい順番に記載しています。

3.1.1 状況を確認する

トラブルが発生したときは、直前に行った操作や現在のパソコンの状況を確認しましょう。

■ メッセージなどが表示されたら控えておく

画面上にメッセージなどが表示されたら、メモ帳などに控えておいてください。マニュアルで該当するトラブルを検索する場合や、お問い合わせのときに役立ちます。

■ パソコンや周辺機器の電源を確認する

電源が入らない、画面に何も表示されない、ネットワークに接続できない、などのトラブルが発生したら、まずパソコンや周辺機器の電源が入っているか確認してください。

- 電源ケーブルや周辺機器との接続ケーブルは正しいコネクタに接続されていますか？また緩んだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- OAタップを使用している場合、OAタップ自体に問題はありませんか？
  他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- 使用する装置の電源はすべて入っていますか？
  ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（サーバー本体やハブなど）の接続や電源も確認してください。
- キーボードの上にものを載せていませんか？
  キーが押され、パソコンが正常に動作しないことがあります。

この他、「3.2.2 起動・終了時のトラブル」（→P.37）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」もあわせてご覧ください。

3.1.2 以前の状態に戻す

周辺機器の取り付けやアプリのインストールの直後にトラブルが発生した場合は、いったん以前の状態に戻してください。

- 周辺機器を取り付けた場合は、取り外します。
- アプリをインストールした場合は、アンインストールします。

その後、製品に添付されているマニュアル、「Readme.txt」などの補足説明書、インターネット上の情報を確認し、取り付けやインストールに関して何か問題がなかったか確認してください。
発生したトラブルに該当する記述があれば、指示に従ってください。

3.1.3　トラブルシューティングで調べる

「3.2 よくあるトラブルと解決方法」（→P.36）は、よくあるトラブルの解決方法が記載されています。発生したトラブルの解決方法がないかご覧ください。

3.1.4　インターネットで調べる

「よくあるQA一覧」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/index.html）では、本パソコンで発生したトラブルの解決方法を提供しています。
また、「サポート」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html）では、本パソコンに関連したサポート情報や更新されたドライバーを提供しています。
注意事項や補足情報も公開していますので、解決方法がないかご覧ください。

3.1.5　診断プログラムを使用する

診断プログラムを使用して、ハードウェアに障害が発生していないか診断してください。
まずBIOSの起動メニューにある診断プログラムで簡単に診断し、異常が発見されなければ続けて「富士通ハードウェア診断ツール」でデバイスを選んで詳しく診断します。
診断後にエラーコードが表示された場合は控えておき、「富士通ハードウェア修理相談センター」にご連絡ください。
診断時間は5～10分程度ですが、診断する内容やパソコンの環境によっては長時間かかる場合があります。
診断プログラムを使用するには、パソコンの電源を完全に切った状態から行ってください。

重 要

- 電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
- BIOSの設定をご購入時の状態に戻してください。
  診断プログラムを使用する前に、必ず、BIOSをご購入時の状態に戻してください。詳しくは、「2.3.9 ご購入時の設定に戻す」（→P.30）をご覧ください。
- 診断プログラムを使用する前に周辺機器を取り外してください。
  USBメモリや外付けハードディスクなど、ハードディスクやリムーバブルディスクと認識される周辺機器は、診断を行う前に取り外してください。
- 無線LAN搭載機種の場合、診断プログラムは、Bluetoothのキーボードおよびマウスで操作できません。
  USBまたはPS/2のキーボード、マウスを用意してください。

■ 起動メニューを表示する

1 本パソコンの電源を完全に切ります。
電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。

3 起動メニューが表示されたら、【F12】キーを離します。

POINT

- BIOSセットアップの「セキュリティ」メニューの「起動メニュー」が「使用しない」の場合は、起動メニューを使用できません。その場合は、「使用する」に設定し直してください。
  BIOSセットアップについては、「2.2.1 BIOSセットアップを起動する」（→P.20）をご覧ください。
- 起動時のパスワードを設定している場合は、パスワードを入力し、すぐに【F12】キーを押してください。
- 起動メニューが表示されずWindowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

「■ 診断プログラムを実行する」（→P.34）へ進んでください。

■ 診断プログラムを実行する

続けて、診断プログラムを実行します。

1 カーソルキーで「診断プログラム」を選択し、【Enter】キーを押します。
「診断プログラムを実行しますか？」と表示されます。

2 【Y】キーを押します。
ハードウェア診断が始まります。
ハードウェア診断が終了したら、診断結果が表示されます。診断結果が表示される前に、自動的にパソコンが再起動する場合があります。

3 次の操作を行います。

●トラブルが検出されなかった場合
【Enter】キーを押してください。続けて「富士通ハードウェア診断ツール」が起動します。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウと「注意事項」ウィンドウが表示されます。手順4へ進んでください。

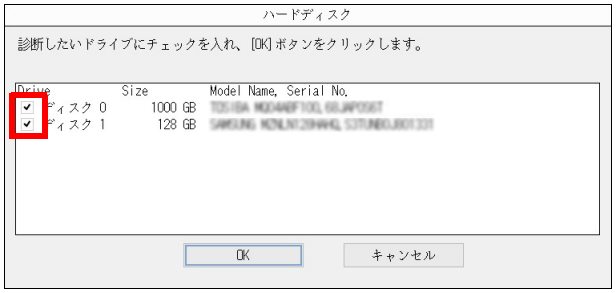
●トラブルが検出された場合
手順4以降の「富士通ハードウェア診断ツール」での診断は不要です。画面に表示された内容を控え、お問い合わせのときにお伝えください。その後、【Y】キーを押してパソコンの電源を切ってください。
電源が自動で切れない場合は、電源ボタンを押して電源を切ってください。

4 「注意事項」ウィンドウの内容を確認し、「OK」をクリックします。

5 「診断」タブをクリックします。
診断したいアイコンにチェックが付いていることを確認します。

重 要

- フラッシュメモリを診断する場合は、次の操作を行ってください。
  1. 「ハードディスク」のアイコンを右クリックします。
  2. 表示された画面で、「ディスク0」にチェックが付いていることを確認します。
     「ディスク0」、「ディスク1」など複数のディスクが表示されている場合は、すべてのディスクにチェックを付けます。
     ●「ディスク0」と「ディスク1」が表示されている場合



  3. 「OK」をクリックします。

6 「実行」をクリックします。
ハードウェア診断が始まります。

POINT

- 「[ハードウェア名]に［媒体］をセットしてください」などと表示された場合、「リカバリデータディスク」や「リカバリ起動ディスク」など、『リカバリガイド』に従って作成したディスクをセットしてください。
  音楽CDなどでは診断できない場合があります。
  診断を取りやめる場合は、「スキップ」をクリックしてください。

7 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。
表示された内容に従って操作してください。エラーコードが表示された場合には控えておき、お問い合わせのときにお伝えください。

8 「診断結果」ウィンドウで「閉じる」をクリックします。
「富士通ハードウェア診断ツール」ウィンドウに戻ります。

9 「終了」をクリックします。
「終了」ウィンドウが表示されます。

10 「はい」をクリックします。
電源が切れ、診断プログラムが終了します。

3.1.6 サポートの窓口に相談する

本章をご覧になり、トラブル解決のための対処をした後も回復しない場合には、「3.3 それでも解決できないときは」（→P.56）をご覧になりサポートの窓口に相談してください。

3.2 よくあるトラブルと解決方法

3.2.1 トラブル一覧

■ 起動 ・ 終了時のトラブル

- 「電源が入らない」（→P.37）
- 「ビープ音が鳴った」（→P.38）
- 「メッセージが表示された」（→P.38）
- 「画面に何も表示されない」（→P.39）
- 「Windowsが起動しない」（→P.40）
- 「Windowsが動かなくなってしまい、電源が切れない」（→P.40）

■ Windows ・ アプリ関連のトラブル

- 「Windowsにサインインできない」（→P.41）
- 「アプリが動かなくなってしまった」（→P.41）
- 「頻繁にフリーズするなど動作が不安定になる」（→P.41）
- 「Windowsやアプリの動作が遅くなった」（→P.42）

■ ハードウェア関連のトラブル

□BIOS

- 「BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった」（→P.42）

□メモリ

- 「仮想メモリが足りない」（→P.42）

□LAN

- 「ネットワークに接続できない」（→P.43）
- 「通信速度が遅い」（→P.43）
- 「無線LANの使用中に接続が切断されたり不安定になったりする」（→P.44）

□Bluetoothワイヤレステクノロジー （無線LAN搭載機種）

- 「Bluetoothのキーボードやマウスの接続が切れやすい」（→P.44）
- 「Bluetoothデバイスが使用できなくなった」（→P.45）
- 「Bluetoothのキーボードやマウスが使用できない」（→P.45）

□ストレージ

- 「フラッシュメモリのパフォーマンスが低下した」（→P.45）
- 「市販のバックアップツールでバックアップできない」（→P.45）

□デバイス

●「機器が使用できない」（→P.46）

□CD/DVD

●「ディスクからデータの読み出しができない」（→P.46）
●「ディスクが取り出せない」（→P.46）
●「PowerDVDが起動しない」（→P.47）
●「ディスクが再生されない、ディスクの再生が円滑に行われない」（→P.47）

□ディスプレイ

●「画面に何も表示されない」（→P.47）
●「表示が乱れる」（→P.47）

□サウンド

●「スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる」（→P.48）
●「マイクからうまく録音ができない」（→P.48）

□キーボード

●「キーボードが動作しない」（→P.49）

□ポインティングデバイス

●「マウスポインターが動かない、正しく動作しない」（→P.49）

□USB

●「USBデバイスが使えない」（→P.50）
●「USBデバイスが使えず、「デバイス マネージャー」で確認すると「!」が表示される」（→P.50）

□その他

●「「ジー」「キーン」という音がする」（→P.51）

3.2.2　起動・終了時のトラブル

Q 電源が入らない

- **電源ケーブルは接続されていますか？**
  パソコン本体背面のメインスイッチはオンになっていますか？
- **電源スイッチのあるOAタップをお使いの場合、OAタップの電源は入っていますか？**
- **電源ボタンを4秒以上押して完全に電源が切れた状態にし、電源ケーブルを抜いてください。30秒以上待ってから再度電源ケーブルを接続し、電源を入れてください。**
- **キーボードの2つのキーを押しても電源が入らない場合は、BIOSセットアップの設定が異なっている可能性があります。**
  『製品ガイド（機種別編）』の「1章 各部名称」－「キーボード」に記載している「■ 2つのキーを押して電源を入れる」をご覧になり、正しく設定してください。

ビープ音が鳴った

- **電源を入れた後の自己診断（POST）時に、ビープ音が鳴る場合があります。**
  ビープ音によるエラー通知は、「ピーッ」「ピッ」「ピッピッ」「ピッピッピッ」のように、1回または連続したビープ音の組み合わせにより行われます。
  ビープ音が鳴る原因と対処方法は、次のとおりです。
  ・メモリのテストエラー
  　・メモリが正しく取り付けられていないか、本パソコンでサポートしていないメモリを取り付けている可能性があります。
  　メモリテストエラーの場合、画面には何も表示されません。
  　メモリが正しく取り付けられているか確認してください。

上記のことを確認してもビープ音が鳴る場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。市販のメモリを増設している場合は、製造元・販売元に確認してください。

メッセージが表示された

- **電源を入れた後の自己診断（POST）時に、画面にメッセージが表示される場合があります。**
  「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.52）の「■ 起動時に表示されるエラーメッセージ」で該当するメッセージを確認し、記載されている処置に従ってください。
  一部のメッセージはBIOSイベントログに記録され、BIOSセットアップから確認できます。「3.2.5 エラーメッセージ一覧」（→P.52）の「■ BIOSイベントログに記録されるエラーメッセージ」をご覧ください。
- **周辺機器の取り付けを確認してください。**
  拡張カードなどを取り付けているときは、それらが正しく取り付けられているか確認してください。
  また、カードの割り込み要求など正しく設定されているかも確認してください。このとき、拡張カードやユーティリティソフトのマニュアルがある場合は、それらもあわせてご覧ください。
- **本パソコンにセキュアブートのセキュリティ機能のバイパスの脆弱性対応（※）を行った場合、脆弱なWindows ブートマネージャーの起動ができません。**
  （※）脆弱性対応について詳しくは、ご購入時に添付の『CVE-2023-24932の脆弱性対応について』をご覧ください。

上記の処置をしてもまだエラーメッセージが発生する場合は、本パソコンが故障している可能性があります。「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

画面に何も表示されない

- **電源ランプが点灯していますか？**
  電源ボタンを押して動作状態にしてください。それでも、画面が表示されない場合は「電源が入らない」（→P.37）をご覧ください。
- **ディスプレイに関して、次の項目を確認してください。**
  ・ディスプレイケーブルのコネクタのピンが破損していませんか？
  ・ディスプレイのブライトネス／コントラストボリュームは、正しく調節されていますか？
  ・デジタルディスプレイや複数台のディスプレイを接続している場合、パソコン本体の電源を入れる前に、ディスプレイの電源を入れていますか？
  必ずパソコン本体の電源を入れる前にディスプレイの電源を入れてください。
  パソコン本体の電源を入れた後にディスプレイの電源を入れると、画面が表示されないことがあります。そのような場合は、いったん電源を切ってから入れ直してください。
  ・グラフィックスカード搭載機種の場合、パソコン本体のディスプレイコネクタにケーブルを接続していませんか？
  パソコン本体のコネクタは使用できません。グラフィックスカードのコネクタに接続してください。
- **2台目のディスプレイを使用している場合、次の項目を確認してください。**
  ・2台目のディスプレイ出力に設定されていませんか？
  2台目のディスプレイだけに表示する設定になっていると、1台目のディスプレイには表示されません。1台目のディスプレイ表示に設定を切り替えてください。
  ・解像度やリフレッシュレートは、2台目のディスプレイにあった設定になっていますか？
  そのまま15秒程度待っても1台目のディスプレイが表示されない場合は、本パソコンを強制終了してください。その後、2台目のディスプレイのケーブルを外してから電源を入れると、1台目のディスプレイに表示されます。
  お使いになる2台目のディスプレイに合わせた設定値に変更した後、2台目のディスプレイの表示に切り替えてください。
  ・ディスプレイの設定については、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「マルチディスプレイ機能」をご覧ください。

Windowsが起動しない

- **Windows 起動時に「スタートアップ修復」ウィンドウが表示された場合は、Windowsが起動するまでそのままお待ちください。**

  Windowsを正常に終了できなかった場合、次回起動時に「スタートアップ修復」ウィンドウが表示され、Windowsの修復が行われることがあります。修復後は自動的に再起動されます。

- **次の認証デバイス（※1）のドライバーをアンインストールしましたか？**

  ・手のひら静脈センサー
  ・指紋センサー
  ・Webカメラ（※2）

  認証デバイスを使用してWindowsにサインインしている場合、その認証デバイスのドライバーをアンインストールするとWindowsが正常に起動できなくなります。
  認証デバイスのドライバーをアンインストールする場合は、「AuthConductor Client Basic」をアンインストールした後で行うようにしてください。（※3）

  Windowsが正常に起動できなくなった場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」または、ご購入元にご連絡ください。

※1 認証デバイスを使用するには、それぞれの外付けデバイスの購入が必要となります。
※2 お使いになるには、別売の「AuthConductor Client 顔認証オプションV2」が必要となります。
※3 アンインストール方法については、認証デバイスドライバーは「Readme.txt」などの説明ファイルを、「AuthConductor Client Basic」はAuthConductor Client Basicのマニュアルをご覧ください。

Windowsが動かなくなってしまい、電源が切れない

- **次の手順でWindowsを終了させてください。**

  1.【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押し、画面右下の「シャットダウン」アイコンをクリックします。

  この操作で強制終了できないときは、次の操作を行います。
  ・電源ボタンを4秒以上押して本パソコンの電源を切り、いったん電源ケーブルを抜いてください。
  電源が切れた後、30秒以上待ってから再度電源ケーブルを接続し、電源を入れてください。

重 要

- ディスクアクセスランプが点灯中に電源を切ると、フラッシュメモリが壊れる可能性があります。
- 強制終了した場合、プログラムでの作業内容を保存することはできません。
- 強制終了した場合は、フラッシュメモリのチェックをお勧めします。

3.2.3 Windows・アプリ関連のトラブル

ここでは、Windows、アプリに関連するトラブルを説明しています。トラブルにあわせてご覧ください。

Windowsにサインインできない

- **認証デバイスを忘れたり、紛失したり、破損したりして、Windowsにサインインできないときは、AuthConductor Client Basicのマニュアルをご覧ください。**

アプリが動かなくなってしまった

- **「タスクマネージャー」から、動かなくなったアプリを強制終了してください。**

POINT

- アプリを強制終了した場合、アプリでの作業内容を保存することはできません。
- アプリを強制終了した場合は、フラッシュメモリのチェックをお勧めします。

頻繁にフリーズするなど動作が不安定になる

- **次の項目を確認してください。**

・ウイルス対策アプリでフラッシュメモリをスキャンする
定期的にフラッシュメモリをスキャンすることをお勧めします。
・Cドライブの空き容量が充分か確認する
Windowsのシステムファイルが格納されているCドライブの空き容量が少ないと、Windowsの動作が不安定になることがあります。
Cドライブの空き容量が少ない場合は、空き容量を増やしてください。空き容量を増やすには次の方法があります。
・ごみ箱を空にする
・不要なファイルやアプリを削除する
・ディスクのクリーンアップを行う
・フラッシュメモリのエラーチェックを行う

それでもトラブルが頻繁に発生する場合は、リカバリを実行してください。詳しくは『リカバリガイド』をご覧ください。

Windowsやアプリの動作が遅くなった

- **通風孔などにほこりが付着し、パソコンの内部が高温になっている可能性があります。**
  ・『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧になり電源を切った後、パソコンのお手入れをしてください。
  ・再起動してください。問題が解決する場合があります。

  対 象　NVMe-RAID1搭載機種

- **リビルド中は充分なI/O処理性能が得られないため、ディスクアレイの状態によってシステムのパフォーマンス速度が低下します。**
  『NVMe-RAIDをお使いの方へ』をご覧ください。

3.2.4　ハードウェア関連のトラブル

■ BIOS

BIOSで設定したパスワードを忘れてしまった

- **管理者用パスワードを忘れると、項目の変更やパスワード解除ができなくなります。**
  また、ハードディスクパスワードを忘れると、フラッシュメモリが使えなくなったり、フラッシュメモリのセキュリティ機能を解除できなくなったりします。
  いずれの場合も修理が必要となります。
  ユーザー用パスワードを忘れた場合は、修理の必要はありません。
  詳しくは、「■ パスワードを忘れてしまったら」（→P.25）をご覧ください。

■ メモリ

仮想メモリが足りない

- **仮想メモリ（ページングファイル）を設定してください。**
  仮想メモリの設定を行うには、仮想メモリの「最大サイズ」分の空き容量がフラッシュメモリに必要です。ただし、ブートパーティション以外に設定する場合、あるいはページングファイルサイズが小さい場合などは、メモリダンプをファイルに出力できなくなります。ダンプファイルを取得するには、システムドライブに最低でも物理メモリ＋1MB（仮想メモリの容量は含まず）の空き容量が必要です。

  POINT

  - 搭載メモリサイズによっては、推奨サイズを設定できない場合があります。その場合は、ページングファイルを保存するドライブを変更してください。
  - 仮想メモリを小さい値に設定した場合、性能に影響があります。最良のシステム効率を得るには、「初期サイズ」に、「すべてのドライブの総ページング ファイル サイズ」の「推奨」に表示されている数値以上の値を設定してください。システムの搭載メモリ総量の1.5倍の値に設定することをお勧めします。
    ただし、メモリを大量に消費するアプリを定期的に使用する場合は、必要に応じてサイズを大きい値に設定してください。

仮想メモリのサイズは次の手順で変更します。

1.「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にクリックします。
2.「バージョン情報」をクリックします。
3. 関連リンクの「システムの詳細設定」をクリックします。
   「システムのプロパティ」が表示されます。
4.「パフォーマンス」の「設定」をクリックします。
5.「詳細設定」タブをクリックし、「仮想メモリ」の「変更」をクリックします。
   1.「すべてのドライブのページングファイルのサイズを自動的に管理する」のチェックを外します。
   2. ページングファイルを保存するドライブを変更する場合は、「ドライブ」で保存するドライブをクリックします。
      システムドライブに充分な空き容量がある場合は、ドライブの変更は必要ありません。
   3.「カスタムサイズ」にチェックを付け、「初期サイズ」および「最大サイズ」を入力し、「設定」をクリックします。
      「初期サイズ」には「すべてのドライブの総ページングファイルサイズ」に表示されている「推奨」の値より大きい値を設定してください。また、「最大サイズ」には「初期サイズ」に設定した値より大きい値を設定してください。
6.「OK」をクリックし、すべてのウィンドウを閉じます。
7. 再起動のメッセージが表示された場合は、メッセージに従って本パソコンを再起動します。

■ LAN

Q ネットワークに接続できない

- **ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？**
- **ネットワークケーブルに関して、次の項目を確認してください。**
  ・ケーブルのコネクタやケーブルは損傷していませんか？
  ・使用するネットワーク環境に合ったケーブルを使っていますか？
- **ネットワークブートやWake on LAN機能が動作しない場合は、次の操作を行ってください。**
  1. 本パソコンの電源を切り、電源ケーブルを抜きます。
  2. ネットワーク機器の電源が入っていることを確認し、LANケーブルを本パソコンへ接続します。
  3. 電源ケーブルを接続し、パソコン本体の電源を入れます。

ネットワークの設定については、ネットワーク管理者に確認してください。

Q 通信速度が遅い

- **ネットワーク機器の電源を入れてから本パソコンの電源を入れてください。また、本パソコンの使用中にLANケーブルを抜いたり、ネットワーク機器の電源をオフにしたりしないでください。**
  ネットワーク機器との接続ができなくなったり、通信速度が極端に低下したりする場合があります。
  例：1000Mbpsで通信していたのに10Mbpsの速度になる
  ネットワーク機器との接続ができない場合は、ネットワーク機器の電源が入っていること、およびLANケーブルで本パソコンとネットワーク機器が接続されていることを確認後、パソコン本体を再起動してください。

無線LANの使用中に接続が切断されたり不安定になったりする

対 象　無線LAN搭載機種

- **パソコン本体の設置場所によってはローミング（※）がうまく行われず、通信が切断されたり不安定になったりします。**

（※）同じ設定をもった複数のアクセスポイント間の接続を切り替える仕組み。

複数の無線LANアクセスポイントを同じSSID設定で使用している場合、パソコンの設置場所によってはローミングが頻繁に行われ接続が不安定になることがあります。
この場合は、次の手順でローミングの設定を変更し、頻度を調整してください。

1. 「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にクリックします。
2. 「バージョン情報」をクリックします。
3. 「デバイス マネージャー」をクリックします。
   「デバイス マネージャー」が表示されます。
4. 「ネットワーク アダプター」をダブルクリックして、お使いの無線 LAN デバイスをダブルクリックします。
   デバイス名については、『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「無線LAN」をご覧になり、確認してください。
5. 「詳細設定」タブをクリックし、次のプロパティ内の設定を変更します。

プロパティ名	ローミングの積極性	
値 （選択）	最低	ローミングしにくく、現在のアクセスポイントとの接続を維持しようとする
	中	ご購入時の設定
	最高	ローミングしやすく、アクセスポイントの切り替えが発生しやすい

6. 「OK」をクリックします。

■ Bluetoothワイヤレステクノロジー　（無線LAN搭載機種）

Bluetoothのキーボードやマウスの接続が切れやすい

対 象　Bluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種

- **次の手順で設定を変更してください。**

1. 「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にクリックします。
2. 「バージョン情報」をクリックします。
3. 「デバイス マネージャー」をクリックします。
   「デバイス マネージャー」が表示されます。
4. 「Bluetooth」をダブルクリックし、「インテル(R) ワイヤレス Bluetooth(R)」をダブルクリックします。
5. 「電源の管理」タブをクリックし、「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフにできるようにする」のチェックを外します。

Bluetoothデバイスが使用できなくなった

対 象　Bluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種

- **「機内モード」の切り替え操作は、充分に間隔をあけて行ってください。**
  Bluetoothデバイスが使用できなくなった場合は、もう一度「機内モード」を「オン」にし、その後間隔をあけてから「機内モード」を「オフ」にしてください。
- **スリープ状態からレジュームした直後に機内モードの操作（設定の切り替え）をすると、Bluetoothの切り替えがうまく動作しないことがあります。しばらく待ってから機内モードの操作を行ってください。**
  機内モードを「オフ」にしてもBluetoothが使えない場合は、Bluetoothの設定を「オン」にしてください。
  1.「スタート」ボタン→（設定）→「デバイス」→「Bluetoothとデバイス」の順にクリックします。
  2.「Bluetooth」を「オン」にします。

Bluetoothのキーボードやマウスが使用できない

対 象　Bluetoothワイヤレステクノロジー搭載機種

- **次の場合は、Bluetoothワイヤレステクノロジーで、キーボード／マウスを接続できません。**
  ・BIOSセットアップ
  ・起動メニュー
  ・診断プログラム
  ・データ消去（ERASE DISKを実行）

  これらの操作には、USBまたはPS/2のキーボード、マウスを用意してください。

■ ストレージ

フラッシュメモリのパフォーマンスが低下した

- **リカバリを実行すると、改善できる場合があります。**
  「データ消去」を実行した後に、リカバリを実行してください。
  フラッシュメモリ内のデータの消去手順については、「データ消去」（→P.59）をご覧ください。
  リカバリ方法については、『リカバリガイド』をご覧ください。

市販のバックアップツールでバックアップできない

- **お使いのバックアップツールが、フラッシュメモリ（NVMe）に対応しているか確認してください。**
  NVMeに非対応のバックアップツールの場合は、フラッシュメモリ（NVMe）のバックアップはできません。

■ デバイス

Q 機器が使用できない

- **「Systemwalker Desktop Keeper for Standalone」の［デバイス種別ごとの使用禁止設定］は、有効になっていますか？**
  次の機器を搭載した機種では、情報漏えいや不正プログラムの導入を防ぐために、「Systemwalker Desktop Keeper for Standalone」を使用してデバイスの使用を制限している場合があります。
  システム管理者に確認してください。
  ・USB（内蔵USBデバイスを含む）
  ・CD/DVD

■ CD/DVD

Q ディスクからデータの読み出しができない

- **ディスクが正しくセットされていますか？**
  ディスクの表裏を間違えないよう、正しくセットしてください。詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「ディスクをセットする」をご覧ください。
- **ディスクが汚れていたり、水滴が付いたりしていませんか？**
  汚れたり水滴が付いたりしたときは、少し湿らせた布で中央から外側へ向かって拭いた後、乾いた布で拭き取ってください。
- **ディスクが傷付いていたり、極端に反っていたりしませんか？**
  ディスクを交換してください。
- **規格外のディスクを使用していませんか？**
  規格にあったディスクをお使いください。詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「使用できるディスク」をご覧ください。
- **「Systemwalker Desktop Keeper for Standalone」の［デバイス種別ごとの使用禁止設定］は、有効になっていますか？（→P.46）**

Q ディスクが取り出せない

- パソコン本体は動作状態になっていますか？
  本パソコンの光学ドライブは電子ロックのため、パソコン本体が動作状態の場合のみディスクのセット／取り出しが可能です。

なお、なんらかの原因でトレーが出ない場合は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「ディスクを取り出す」をご覧ください。

PowerDVDが起動しない

- **市販されているウイルス対策アプリを起動していませんか？**
  市販されているウイルス対策アプリと「PowerDVD」を同時に起動することはできません。
  ウイルス対策アプリを終了してから、「PowerDVD」を起動してください。
  なお、本パソコンに添付の「マカフィー リブセーフ」は問題ありません。
- **自動検索機能付のウイルス対策アプリ（市販）をインストールしていませんか？**
  自動検索機能付のウイルス対策アプリをインストールしていると、「PowerDVD」を起動することはできません。
  ウイルス対策アプリをアンインストールしてから「PowerDVD」を起動してください。
  なお、本パソコンに添付の「マカフィー リブセーフ」は問題ありません。

ディスクが再生されない、ディスクの再生が円滑に行われない

- **「PowerDVD」を使用して、ディスクを再生していますか？**
  「PowerDVD」以外のアプリで再生した場合、円滑に再生できないことがあります。

■ ディスプレイ

画面に何も表示されない

- **「3.2.2 起動・終了時のトラブル」（→P.37）の「電源が入らない」、「画面に何も表示されない」をご覧ください。**
- **省電力状態になっていませんか？**
  本パソコンには省電力機能が設定されており、一定時間入力がないと省電力状態に移行します。
  詳しくは『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「省電力」をご覧ください。

表示が乱れる

- **解像度、発色数、リフレッシュレートが正しく設定されていますか？**
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「解像度を変更する」をご覧になり、正しく設定してください。
  外部ディスプレイの場合は、外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。
- **アプリを使用中に、アイコンやウィンドウの一部が画面に残ってしまった場合は、次の手順でウィンドウを再表示してください。**
  1. アプリを最小化します。
  2. 最小化したアプリを元のサイズに戻します。

POINT

- 次のような場合に表示が乱れることがありますが、動作上は問題ありません。
  - Windows起動時および画面の切り替え時
  - DirectXを使用した一部のアプリ使用時

- **近くにテレビなどの強い磁界が発生するものがありませんか？**
  強い磁界が発生するものは、ディスプレイやパソコン本体から離して置いてください。
- **ドライバーが正しくインストールされていますか？**
  「1.2 インストール」（→P.13）をご覧になり、ディスプレイドライバーを再インストールしてください。
- **Dual Link対応ディスプレイをお使いの場合は、必ずディスプレイ付属のケーブル（Dual Link対応）をお使いください。**

■ サウンド

Q スピーカーから音が出ない、音が小さい、または音が割れる

- **外付けスピーカーに関して、次の項目を確認してください。**
  ・パソコン本体と正しく接続されていますか？
  ・スピーカーの電源ケーブルは接続されていますか？
  ・スピーカーの電源ボタンは入っていますか？
  ・音量ボリュームは正しく調節されていますか？
  ・次のオーディオ端子にヘッドホン（または他のデバイス）が接続されていませんか？
  　・マイク・ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子
- **ミュートや音量などを確認してください。**
  詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」をご覧ください。
- **音が割れる場合は、音量を小さくしてください。**
- **オーディオ端子の機能が正しく設定されていますか？**
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「オーディオ端子の機能を切り替える」をご覧になり、オーディオ端子の機能を正しく切り替えてください。
- **サウンドドライバーが正しくインストールされていますか？**
  必要に応じて、「1.2 インストール」（→P.13）をご覧になり、再インストールしてください。

Q マイクからうまく録音ができない

- **音量は調節されていますか？**
  音量を設定するウィンドウで録音の項目を有効にし、音量を調節してください。詳しくは、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「サウンド」をご覧ください。
- **オーディオ端子の機能が正しく設定されていますか？**
  『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「オーディオ端子の機能を切り替える」をご覧になり、オーディオ端子の機能を正しく切り替えてください。
- **次の設定で改善する場合があります。**
  1. 「スタート」ボタン→「すべて」の「Realtek Audio Console」の順にクリックします。
     「Realtek Audio Console」ウィンドウが表示されます。
  2. 画面左側のメニューで「マイク」をクリックします。
  3. 画面右側の「マイク効果」の設定を変更します。
     お使いの状況にあわせて設定を変更してみてください。

■ キーボード

Q キーボードが動作しない

- **キーボードは正しく接続されていますか？**
  - ・USBキーボードをお使いの場合は、電源を切らずにキーボードのUSBコネクタを一度抜き、接続し直してください。
  - ・PS/2 キーボードをお使いの場合は、電源ボタンを軽く 1 回押して電源を切り、キーボードのコネクタを一度抜き接続し直してください。このとき、電源ボタンは4秒以上押さないでください。4秒以上押すと、Windowsが正常終了せずにパソコン本体の電源が切れてしまいます。
  - ・無線LAN搭載機種でBluetoothのキーボードをお使いの場合は、プロファイルの仕様を確認し、接続し直してください。詳しくは、『Bluetoothワイヤレステクノロジーご利用ガイド』をご覧ください。
    また、次の場合は、Bluetoothワイヤレステクノロジーでキーボードを接続できません。
    - ・BIOSセットアップ
    - ・起動メニュー
    - ・診断プログラム
    - ・データ消去（ERASE DISKを実行）

    これらの操作には、USBまたはPS/2のキーボードを用意してください。

■ ポインティングデバイス

Q マウスポインターが動かない、正しく動作しない

- **マウスは正しく接続されていますか？**
  - ・USBマウスをお使いの場合は、電源を切らずにマウスのUSBコネクタを一度抜き、接続し直してください。
  - ・PS/2マウスをお使いの場合は、電源ボタンを軽く1回押して電源を切り、マウスのコネクタを一度抜き接続し直してください。このとき、電源ボタンは4秒以上押さないでください。4秒以上押すと、Windowsが正常終了せずにパソコン本体の電源が切れてしまいます。
  - ・無線LAN搭載機種でBluetoothのマウスをお使いの場合は、プロファイルの仕様を確認し、接続し直してください。詳しくは『Bluetoothワイヤレステクノロジーご利用ガイド』をご覧ください。
    また、次の場合は、Bluetoothワイヤレステクノロジーでマウスを接続できません。
    - ・BIOSセットアップ
    - ・起動メニュー
    - ・診断プログラム
    - ・データ消去（ERASE DISKを実行）

    これらの操作には、USBまたはPS/2のマウスを用意してください。
- **オプティカルセンサー部分が汚れていませんか？**
  - ・オプティカルセンサー部分をクリーニングしてください。
- **次のようなものの上で操作していませんか？**
  - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
  - ・光沢のあるもの
  - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
  - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの

■ USB

USBデバイスが使えない

- **ケーブルは正しく接続されていますか？**
- **USBデバイスがUSBハブを経由して接続されていませんか？**
  USBハブを経由すると問題が発生する場合があります。USBデバイスを本体のUSBコネクタに直接接続してみてください。
- **USBデバイスに不具合はありませんか？**
  USBデバイスに不具合がある場合、Windowsが正常に動作しなくなることがあります。
  パソコンを再起動して、USBデバイスを接続し直してみてください。それでも正常に動作しない場合は、USBデバイスのご購入元にご連絡ください。
- **「Systemwalker Desktop Keeper for Standalone」の［デバイス種別ごとの使用禁止設定］は、有効になっていますか？（→P.46）**
- **対応していないUSBデバイスを接続していませんか？**
  USBコネクタには、対応した規格のUSBデバイスの接続をお勧めします。
  お使いの機種のUSBコネクタの仕様については、『製品ガイド（機種別編）』の「5章 仕様」―「本体仕様」をご覧ください。
- **長いUSBケーブルを使用していませんか？**
  長いUSBケーブルを使用してUSBデバイスを接続した場合、USBデバイスが正常に動作しないことがあります。
  この場合は、USB準拠の短いケーブルをお試しください。

USBデバイスが使えず、「デバイス マネージャー」で確認すると「!」が表示される

- **デバイスドライバーに問題はありませんか？インストールされていますか？**
  必要なドライバーをインストールしてください。
- **外部から電源が供給されないUSBデバイスの場合、消費電力に問題はありませんか？**
  次の手順でUSBコネクタの電力使用状況を確認してください。
  1. 「スタート」ボタン→（設定）→「システム」の順にクリックします。
  2. 「バージョン情報」をクリックします。
  3. 「デバイス マネージャー」をクリックします。
     「デバイス マネージャー」が表示されます。
  4. 「ユニバーサルシリアルバスコントローラー」をダブルクリックし、「USB Root Hub」または「USBルートハブ」をダブルクリックします。
     「USB Root Hubのプロパティ」ウィンドウまたは「USBルートハブのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
  5. 「電力」タブをクリックし、USBバスの電力使用状況がデバイス マネージャーで使用可能な電力の合計を超えていないか確認します。
- **「Systemwalker Desktop Keeper for Standalone」の［デバイス種別ごとの使用禁止設定］は、有効になっていますか？（→P.46）**

■ その他

「ジー」「キーン」という音がする

- **静かな場所では、「ジー」、「キーン」というパソコン本体内部の電子回路の動作音が聞こえる場合があります。**
  故障ではありませんので、そのままお使いください。

3.2.5　エラーメッセージ一覧

ここでは、本パソコンが表示するメッセージと、その対処方法を説明しています。
エラーメッセージ一覧には、お使いのパソコンに搭載されているハードウェアによっては、表示されないメッセージも含まれています。
本書に記載されていないエラーメッセージが表示された場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。

■ 起動時に表示されるエラーメッセージ

起動時の自己診断（POST）で異常がみつかった場合に表示されるメッセージは、次のとおりです。

重 要

- エラーメッセージが表示された場合は、対処を行った後にBIOSセットアップを起動し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する」または「変更を保存して電源を切る」を実行してください。

BIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。

メッセージ	解説
B	
Bad RTC Battery 内蔵リチウム電池の電圧低下	内蔵リチウム電池が取り外されました。
BIOS Settings defaults loaded. BIOS設定が標準設定値へ読み込まれました。	すべてのBIOS設定項目が標準設定値に変更されました。BIOSセットアップの各設定を確認し、正しい値に設定し直してください。 起動するたびに本エラーメッセージが表示される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
F	
FAN fault: n FAN absent: n FANエラー : n FAN未接続: n	ファン動作確認時にファンでエラーが発生しました。 接続されているファンが壊れていないか、ファンの電源ケーブルが正しく接続されているかを確認してください。また、ファンの回転部分にケーブルや異物がはさまっていないか確認してください。 確認後、BIOSセットアップを起動し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する」または「変更を保存して電源を切る」を実行してください。 それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
I	
Invalid date / time 日付と時刻の設定を確認してください。	日付／時刻がリセットされました。 BIOSセットアップを起動して、正しい日付／時刻を設定してください。
Invalid Password パスワードが正しくありません	誤ったパスワードが入力されました。
K	
Keyboard/Interface Error. キーボードエラーまたはキーボードが接続されていません。	キーボードテストでエラーが発生しました。電源を切って、キーボードが正しく接続されているか確認し、30秒以上待ってから電源を入れ直してください。 また、キーボードを接続せずにお使いになる場合は、エラーが表示されないようにBIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「キーボードエラー検出」を「使用しない」に設定してください。
P	
Press <F2> to enter setup or any other key to continue. <F2>キーを押すとBIOSセットアップを起動します。その他のキーを押すと継続します。	POST中にエラーが発生するとOSを起動する前に本メッセージが表示されます。 【F2】キーを押すとBIOSセットアップを起動して設定を変更できます。他のキーを押すとOSの起動を開始します。
PXE-T01:File not found	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバー上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバーを正しく設定してください。

メッセージ	解説
PXE-E32:TFTP open timeout	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ネットワークブートに失敗しました。ブートサーバーを正しく設定してください。
PXE-E51: No DHCP or proxyDHCP offers were received	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバーがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバーを正しく設定してください。
PXE-E53:No boot filename received	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバーがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバーを正しく設定してください。
PXE-E61:Media test failure, Check cable	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。LANケーブルが正しく接続されていません。LANケーブルを正しく接続してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
PXE-E78:Could not locate boot server	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバーがクライアントから認識されていない場合に発生するエラーです。ブートサーバーを正しく設定してください。
PXE-E89:Could not download boot image	Preboot Execution Environment実行時のエラーです。ブートサーバー上のブートイメージファイルが取得できませんでした。ブートサーバーを正しく設定してください。それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
S	
System Disabled. システムは使用できません。	誤ったパスワードが3回入力されました。

■ BIOSイベントログ

起動時の自己診断（POST）で、一部のエラーやシステム変更などの情報がBIOSイベントログに記録されます。
BIOSセットアップの「詳細」メニューの「イベントログ設定」の「イベントログの表示」から確認できます。
BIOSセットアップメニューについては、『BIOSセットアップメニュー 一覧』をご覧ください。
BIOSイベントログに記録されるイベントは、次のとおりです。

メッセージ	解説
B	
Bad RTC Battery ERROR CODE:FJ 0006800B	内蔵リチウム電池が取り外されました。
内蔵リチウム電池の電圧低下 ERROR CODE:FJ 0006800B	
BIOS password wrong ERROR CODE:EFI 03051001	間違ったBIOSパスワードが3回入力されたため、起動を中断しました。
パスワード入力不正 ERROR CODE:EFI 03051001	
BIOS Settings defaults loaded. ERROR CODE:FJ 0005F013	すべてのBIOS設定項目が標準設定値に変更されました。BIOSセットアップの各設定を確認し、正しい値に設定し直してください。 起動するたびに本エラーメッセージが記録される場合は、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
BIOS設定が標準設定値へ読み込まれました。 ERROR CODE:FJ 0005F013	
D	
Diagnostic Program found error (Code=xxxxxxxx) ERROR CODE:Smbios 0x87	診断プログラムがエラーを検出しました。 診断コードを記録し、「富士通ハードウェア修理相談センター」までご連絡ください。
診断プログラムが異常を検出 （詳細コード＝ xxxxxxxx） ERROR CODE:Smbios 0x87	
F	
n: Fan failed. n: Fan absent. ERROR CODE:FJ 00040004	ファン動作確認時にファンでエラーが発生しました。 接続されているファンが壊れていないこと、ファンの電源ケーブルが正しく接続されていることを確認してください。また、ファンの回転部分にケーブルや異物がはさまっていないか確認してください。 確認後、BIOSセットアップを起動し、「終了」メニューの「変更を保存して終了する」または「変更を保存して電源を切る」を実行してください。 それでも本メッセージが表示されるときは、「富士通ハードウェア修理相談センター」、またはご購入元にご連絡ください。
n: ファンエラー n: ファン未接続 ERROR CODE:FJ 00040004	
H	
HDD password is invalid ERROR CODE:EFI 03051004	間違ったHDDパスワードが3回入力されたため、起動を中断しました。
パスワード入力不正 ERROR CODE:EFI 03051004	
I	
Invalid date/time. ERROR CODE:FJ 00090071	日付、時刻が正しく設定されていません。 「システム日付」および「システム時刻」の設定を確認してください。
日付と時刻が正しくありません。 ERROR CODE:FJ 00090071	

メッセージ	解説
K	
Keyboard error. ERROR CODE:FJ 00090011	キーボードテストでエラーが発生しました。キーが押されたままになっていないか、またはキーボードが正しく接続されているか確認してください。 また、キーボードを接続せずにお使いになる場合は、エラーが表示されないようにBIOSセットアップの「詳細」メニューの「起動設定」→「キーボードエラー検出」を「使用しない」に設定してください。
キーボードエラー ERROR CODE:FJ 00090011	
L	
Log Area Reset ERROR CODE:FJ 002E0001	BIOSイベントログがクリアされました。
イベントログがクリアされました。	

3.3 それでも解決できないときは

3.3.1 お問い合わせ先

■ 弊社へのお問い合わせ

故障かなと思われたときや、技術的なご質問・ご相談などについては、『取扱説明書』をご覧になり、弊社までお問い合わせください。

■ アプリに関するお問い合わせ

本パソコンに添付されている、次のアプリの内容については、各連絡先にお問い合わせください。

- マカフィー リブセーフ
- i-フィルター

お問い合わせ先については、「よくあるQA一覧」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/qalist/index.html）の「アプリに関するお問い合わせについて」をご覧ください。

廃棄・リサイクル

■ 本製品の廃棄について

- **フラッシュメモリのデータを消去していますか？**
  パソコン本体に搭載されているフラッシュメモリには、お客様の重要なデータ（作成したファイルや送受信したメールなど）が記録されています。パソコンを廃棄するときは、フラッシュメモリ内のデータを完全に消去することをお勧めします。
  フラッシュメモリ内のデータ消去については、「付録1 パソコン本体の廃棄・譲渡時の注意」（→P.58）をご覧ください。
- **メインボード上に装着されている電池は取り外さずに、パソコン本体と一緒に廃棄してください。**
- **本製品の廃棄**
  ・法人、企業のお客様へ
  本製品の廃棄については、弊社Webサイト「ICT製品の処分・リサイクル方法」（https://www.fujitsu.com/jp/about/environment/recycleinfo/）をご覧ください。
  ・個人のお客様へ
  本製品を廃棄する場合は、弊社Webサイト「富士通パソコンリサイクル」（https://azby.fmworld.net/recycle/）をご覧ください。

付録1　パソコン本体の廃棄 ・ 譲渡時の注意

ここでは、パソコンを廃棄・譲渡するときにデータが流出するのを防ぐための対策について説明しています。

パソコンの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリ上のデータ消去に関する注意

パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。
これらのパソコンの中のフラッシュメモリという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、そのパソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータを消去するということが必要です。
ところが、このフラッシュメモリ内に書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に
① データを「ごみ箱」に捨てる
②「削除」操作を行う
③「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
④ ソフトで初期化（フォーマット）する
⑤ リカバリし、ご購入時の状態に戻す
などの作業を行うと思います。
まず、「ごみ箱」にデータを捨てても、OSのもとでファイルを復元することができてしまいます。さらに②～⑤の操作をしても、フラッシュメモリ内に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの場合があります。
つまり、一見消去されたように見えますが、WindowsなどのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。
したがいまして、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、このパソコンのフラッシュメモリ内の重要なデータが読み取られ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
パソコンユーザーが、廃棄・譲渡等を行う際に、フラッシュメモリ上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、フラッシュメモリに記録された全データを、ユーザーの責任において消去することが非常に重要です。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス（共に有償）を利用するか、フラッシュメモリ上のデータを物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることを推奨します。
なお、フラッシュメモリ上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、充分な確認を行う必要があります。

データ消去

本パソコンのフラッシュメモリのデータは、付属の「ERASE DISK」で消去します。

重 要

- データ消去は、特殊な設備や特殊なアプリの使用によりデータを復元される可能性があります。
  あらかじめご了承ください。

■ 注意事項

- パソコン本体にUSBメモリ、メモリーカード、外付けハードディスクなど周辺機器を接続している場合は、データ消去を実行する前に必ず取り外してください。

  POINT

  - データ消去実行後に消去ログを保存する場合は、フォーマット済みのUSBメモリ（FAT32ファイルシステム）を準備してください。

- 必要なデータは事前にバックアップしてください。
- データ消去を実行するとフラッシュメモリに格納されているデータ（リカバリデータなど）はすべて消去されます。
  また、Windowsが起動できなくなるので、再度パソコンを使用する場合はリカバリの実行が必要となります。
  必要に応じてデータ消去の前にリカバリデータディスクを作成してください。作成方法は『リカバリガイド』をご覧ください。
- データ消去中に電源を切らないでください。フラッシュメモリが故障する可能性があります。

■ データ消去方法

「ERASE DISK」を実行するには、パソコンの電源を完全に切った後、BIOSセットアップを起動します。
BIOSセットアップで管理者パスワードを設定し、「ERASE DISK」を開始します。

□BIOSセットアップを起動する

1 **本パソコンの電源を完全に切ります。**
電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

2 **【F2】キーまたは【Esc】キーを押したまま、パソコンの電源を入れます。**

3 **BIOSセットアップ画面が表示されたら、【F2】キーまたは【Esc】キーを離します。**
パスワード入力画面が表示された場合はパスワードを入力（→P.25）、すぐに【F2】キーまたは【Esc】キーを押してください。

POINT

- Windowsが起動してしまった場合は、本パソコンの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。
  電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。

□管理者パスワードを設定する

すでに管理者パスワードを設定している場合は、「□ ERASE DISKを実行する」へ進んでください。

1 **「セキュリティ」メニューを選択します。**

2 **「管理者用パスワード設定」を選択し、【Enter】キーを押します。**

3 **「新しいパスワードを入力してください」にパスワードを入力します。**
「現在のパスワードを入力してください」と表示された場合は、すでに管理者パスワードが設定されてます。【Esc】キーを押して、「□ ERASE DISKを実行する」へ進んでください。

4 **「新しいパスワードを確認してください」に同じパスワードを入力します。**
「変更が保存されました。」と表示され、パスワードが設定されます。

5 **【Enter】キーを押します。**

POINT

- 管理者パスワードは、ERASE DISKを実行するために必要です。
  管理者パスワードを忘れると、ERASE DISKの実行や管理者パスワードの変更・削除などができなくなります。
  管理者パスワードはメモに控えるなど、忘れないようにしてください。
- 入力できる文字については、「2.3.1 BIOSのパスワード機能を使う」（→P.23）をご覧ください。

6 **「終了」メニューを選択します。**

7 **「変更を保存する」を選択し、【Enter】キーを押します。**
確認メッセージが表示されます。

8 **「はい」を選択し、【Enter】キーを押します。**
変更が保存されました。

□ ERASE DISKを実行する

1 「セキュリティ」メニューを選択します。

2 「ディスク消去」を選択し、【Enter】キーを押します。

3 「次回起動時に実施」を選択し、【Enter】キーを押します。

4 「終了」メニューを選択します。

5 「変更を保存して終了する」を選択し、【Enter】キーを押します。
確認メッセージが表示されます。

6 「はい」を選択し、【Enter】キーを押します。
パソコンが再起動し、ERASE DISKが起動します。

7 管理者パスワードを入力して、【Enter】キーを押します。

重 要

- 次の場合は「ERROR」が表示されます。
  - ・パスワードを間違えています。
    「OK」をクリックし、正しいパスワードを入力し直してください。
  - ・パスワードを3回間違えています。
    パスワードを3回間違えると、ERASE DISKを中止します。「PCを再起動する」をクリックして、「□ BIOSセットアップを起動する」（→P.59）からやり直してください。

8 「次へ」をクリックします。
「ご使用条件」が表示されます。内容をよくお読みください。

9 「了承の上、次へ」をクリックします。
本パソコンに搭載されているストレージ（フラッシュメモリ）の名前が表示されます。

10 データ消去するストレージ（フラッシュメモリ）を選択して、「次へ」をクリックします。
データの消去法選択画面が表示されます。

重 要

- ストレージを2台（複数）搭載している場合
  データ消去は1台のドライブしか実行できません。他のストレージのデータ消去は、手順15まで進んだ後に行ってください。

11 そのまま「次へ」をクリックします。
「ドライブ消去後に実行するオプションを選択してください」と表示されます。

12 実行するオプションを選択します。

データ消去後に、選択したオプションの処理が行われます。

・BIOSの管理者およびユーザーパスワードをリセットします
・BIOSの標準設定値を読み込みます
・コンピューターをシャットダウンします
・消去ログをUSBドライブにセーブします

重 要

- オプションは複数選択できます。
- オプションで「消去ログをUSBドライブにセーブします」を選択する場合は、フォーマット済みのUSBメモリ（FAT32ファイルシステム）を本パソコンに接続してから、「次へ」をクリックしてください。

13 「次へ」をクリックします。

データ消去前の確認画面が表示されます。

14 消去しても問題が無ければ、「了承の上、次へ」をクリックします。

データ消去が開始されます。完了するまでしばらくお待ちください。

15 「データ消去が正常に完了しました」と表示されたら、次に行う動作を選択します。

・消去ログを見る ：データ消去をしたログを確認できます。
・消去ログをUSBドライブにセーブする：消去ログをUSBメモリに保存できます。
　フォーマット済みのUSBメモリ（FAT32ファイルシステム）をパソコンに接続してから選択してください。
・トップに戻る　：2台目のストレージのデータ消去を行う場合に選択します。
　手順10の画面が表示されるので、同様の手順でデータ消去を行ってください。
・PCを再起動する：パソコンが再起動します。

重 要

- 手順12のオプションで「コンピューターをシャットダウンします」を選択した場合は、そのままパソコンの電源が切れます。
- 消去ログの情報は本パソコン内に残されます。消去ログの確認やUSBメモリへの保存が終わったらログを削除することをお勧めします。
  消去ログを削除する場合は「消去ログを見る」または「消去ログをUSBドライブにセーブする」を選択し、表示された画面で「ログを消す」をクリックして画面の指示に従ってください。

以上でデータ消去は終了です。
再度、パソコンを使用する場合は、リカバリを実行してください。詳しくは『リカバリガイド』をご覧ください。

付録2　Windowsの新規インストール

サポートOSおよびボリュームライセンス用OSを新規にインストールする方法を説明します。
手順どおりにインストールすることで、パソコンが正常に動作します。

注意事項

- Windowsを新規にインストールすると、フラッシュメモリのすべてのデータが削除されます。
  必要に応じて事前にバックアップしてください。
- Windowsをインストールすることにより、今までお使いになっていた機能が使えなくなることがあります。
- ご購入後に増設・接続された周辺機器は、必ず取り外してください（カスタムメイドオプションを除く）。
  OSの新規インストールが完了してから、1つずつ取り付けてください。
- 無線LAN搭載機種の場合、新規インストール時にBluetoothワイヤレステクノロジーでキーボード／マウスを接続することはできません。これらの操作には、USBまたはPS/2のキーボード、マウスを用意してください。
- ドライバーはすべてインストールしてください。インストールしないとパソコンが正常に動作しません。
- 別売の外付け光学ドライブを接続してください。（光学ドライブ非搭載の場合）
- インストールするWindowsのバージョンおよびエディションによって、インターネット接続が必要になる場合があります。事前にご確認のうえ、Windowsをインストールすることをお勧めします。
  また、インターネット接続をするために、対応するネットワークドライバーのインストールが必要な場合があります。

新規インストールの準備

□BIOSの設定をご購入時の状態に戻す

□セキュリティチップをクリアする　（→P.27）

□ディスクを用意する

- 正規のWindows 11のインストールディスク
- ドライバーズディスク

重 要

- 「ドライバーズディスク」がお手元にない場合は、事前にディスクを作成してください。
  作成方法については『リカバリガイド』をご覧ください。

□フラッシュメモリデータを消去する　（→P.59）

新規インストール手順

新規インストールは、パソコンの電源を完全に切った状態から行ってください。

1 Windowsのインストールディスクを起動します。

1. 本パソコンの電源を完全に切ります。
   電源の切り方は、『製品ガイド（機種別編）』の「2章 取り扱い」―「電源を切る」をご覧ください。
2. 【F12】キーを押したまま、本パソコンの電源を入れます。
3. 起動メニューが表示されたら、【F12】キーを離します。
4. インストールディスクをセットします。
5. 【Ctrl】＋【Alt】＋【Delete】キーを押して、続けて【F12】キーを押したままにします。
   本パソコンが再起動します。
6. 起動メニューが表示されたら【F12】キーを離します。
7. 光学ドライブを選択して【Enter】キーを押します。
   「UEFI：[光学ドライブ名]」を選択してください。
   「Press any key to boot from CD or DVD…」と表示されたら、何かキーを押してください。

2 画面の指示に従って、Windowsのインストールとセットアップを行います。

操作の途中で次の画面が表示されます。画面が表示されたら、次の操作を行ってください。

●「インストールの種類を選んでください」が表示されたら

1.「カスタム：Windowsのみをインストールする」をクリックします。
   新規インストールはこちらを選択してください。

●「Windowsのインストール場所を選択してください」が表示されたら

Windowsをインストールするパーティションを作成します。

1.「新規」をクリックし、「適用」をクリックします。
   複数のパーティションが作成されます。
2.「プライマリ」と書かれたパーティションを選択し、「フォーマット」をクリックします。
   選択したパーティションがフォーマットされます。

POINT

- Windowsのインストールの前にドライバーをインストールする場合は、「ドライバーの読み込み」をクリックし、画面の指示に従って進めてください。

3.「プライマリ」と書かれたパーティションを選択し、「次へ」をクリックします。
   Windowsのインストール場所を設定します。

Windowsのインストールが始まります。途中何度か再起動しますが、そのままお待ちください。
設定画面が表示されたら、画面に従って進めてください。
しばらくするとデスクトップ画面が表示され、インストールとセットアップが完了します。

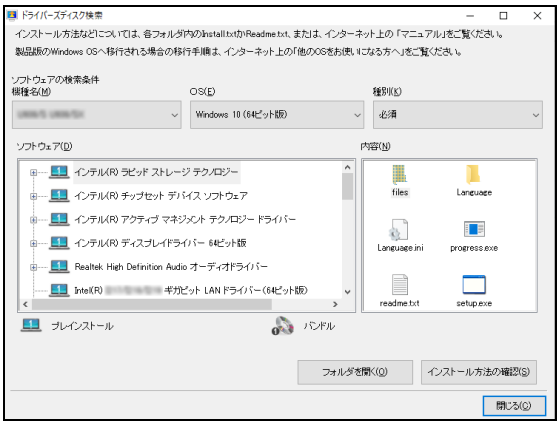
3 ドライバー、アプリ、ユーティリティをインストールします。

1.「ドライバーズディスク」をセットします。
   「ドライバーズディスク検索（DRVCDSRC.exe）」が起動します。

POINT

- 「ドライバーズディスク検索」が起動しない場合は、次のように操作してください。
  1.「スタート」ボタンを右クリックし、「エクスプローラー」をクリックします。
  2. ウィンドウ左の「PC」をクリックします。
  3. ディスクをセットしたドライブのアイコンを右クリックし、表示されたメニューから「自動再生を開く」をクリックします。
  4.「DRVCDSRC.exeの実行」をクリックします。

2. 「ソフトウェアの検索条件」の「機種名」からお使いの機種を、「OS」からお使いのOSをそれぞれ選択します。
3. 「種別」から「必須」を選択し、「ソフトウェア」に表示されたドライバーを上から順にすべてインストールします。
   必ず上から順にインストールしてください。インストール方法については「Readme.txt」をお読みください。



（表示内容は機種や状況により異なります）

4. 「種別」から「任意」を選択し、「ソフトウェア」から必要なドライバー、アプリ、ユーティリティをインストールします。
   - ご購入時に選択したカスタムメイドにあわせてインストールしてください。
   - プレインストールと記載されているソフトウェアは、インストールすることをお勧めします。
   - インストール方法については「Readme.txt」をお読みください。

この後は、お使いの状況によって操作してください。

●ボリュームライセンス用OSでお客様専用マスタを作成する場合
「お客様専用マスタを作成する場合の注意事項」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/support/os/master/）をご覧になり、お客様専用マスタを作成してください。

●サポートOSをインストールした場合
ストア アプリをインストールしてください。
ストア アプリのインストール後、「■ 最新の状態に更新する」（→P.66）へ進んでください。

重 要

- ストア アプリは「ドライバーズディスク」に格納されていませんので、Microsoft Storeからインストールする必要があります。対象のアプリについては、「1.1 アプリの紹介」（→P.9）でご確認ください。
  また、各ストア アプリのURLやインストール時の注意については、「ドライバーズディスク」内にある「Readme.txt」をご確認ください。

■ 最新の状態に更新する

Windowsおよび、ドライバーやユーティリティは常に最新の状態にしておく必要があります。

□ Windows Updateを実行する

Windowsを最新の状態に更新します。詳しくはWindowsのヘルプをご覧ください。

重 要

- ご利用中のWindowsのバージョンに対応した最新の更新プログラムをインストールしてください。
  なお、問題が発生してWindowsの操作ができなくなった場合は、再度Windowsを新規インストールしてから、最新の更新プログラムをインストールしてください。
  - Windows 11 更新履歴
    https://support.microsoft.com/ja-jp/topic/windows-11-version-25h2-update-history-99c7f493-df2a-4832-bd2d-6706baa0dec0
  - ダウンロードURL（このURLは変更されることがあります）
    https://www.catalog.update.microsoft.com/Home.aspx
  - インストール方法
    1. 管理者アカウントでサインインします。
    2. ダウンロードしたファイルを格納したフォルダーを開きます。
    3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックします。
       修正プログラムが実行されます。
       この後は、表示された画面に従って操作してください。

POINT

- インターネットに接続すると、自動的にインストールされるドライバーおよびユーティリティがあります。

□ ドライバーおよびユーティリティを更新する

「サポート」のページ（https://www.fmworld.net/biz/fmv/index_support.html）にて、最新版のドライバーやユーティリティが提供されている場合があります。
システムの安定稼働のため、常に最新版のドライバーやユーティリティを適用することをお勧めします。

□ アップデートナビを有効にする

アップデートナビを有効にするために、一度アプリを起動し、自動更新通知・常駐設定で「自動更新通知をする」をしてください。
その後、ドライバーやアプリが更新されると、通知が表示されます。

ESPRIMO

製品ガイド（共通編）
B5FL-4671-01 Z0-00

発 行 日　2026年10月
発行責任　富士通株式会社

〒211-8588　神奈川県川崎市中原区上小田中4-1-1

●このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
●このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
●無断転載を禁じます。